新京日日新聞 夕刊 五月二十五日
發行所 新京日日新聞社 發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

新大臣に聽く（二）
"大命を拜して最善を盡すのみ"
外交部大臣 張燕卿氏語る

滿洲國行政の上層部に在つて若鮎の如くサッ爽と立ち働きつつあつた張燕卿氏は今次の內閣更迭で謝介石氏の後を襲つて外交部大臣となつた登廳その日から北鮮稅關手續協定の成立あり、張大臣は極めて多忙な日々を送つてゐられる

記者は漸く氏をヤマトホテルに於いてとらへ外交部大臣に就任についての感想談を乞ふた、氏は語る

私は外交關係のことは何ら知識もなく經驗もありません、ただ陛下の大命を拜しまして自分だけの都合で退くことは出來ませず忠誠私の最善を盡すだけであります、ヅウ、マイ、ベストです、新しい政策意見等何もありません、私の信ずる所を申せば建國宣言と皇帝御登極の詔書並びに先般日本からお歸りになつての詔書この三つの精神に基いてやつて行くことが大事だと考へます、建國以來三年外交部としても大きな仕事をやつて來て居ります、私はその跡をついで若し在任中些かでも日滿協力一致の力により東洋の平和、ひいて世界の平和に貢獻することを得ますならば非常に幸ひとするところであります

四十一歳の青年大臣の歯切れは素晴しくいい、短かい言葉の中に氏が抱持する信念と、そして外交の大向に處して行くための心構へは明確に語り出されてゐるのをわれらは知る、この大臣在つて滿洲國外交の前途はいよ〳〵洋々たるものがあるであらう

滿洲里會商愈よけふ第一回會議
滿洲國側一切の手筈なる
外蒙代表けふ到着の筈

【滿洲里國通】廿四日午後二時から凌首席代表公館で開かれた滿洲國側四代表全部の打合せ會議に於ては滿洲里會議に對する滿洲國側の方策に就て最後的協議を遂げ午後四時散會した、此打合せ會議で滿洲國側は何時でも會議に臨める一切の手筈を完了し今はただ外蒙側代表の來着を待つのみである、因みに外蒙代表一行九名は廿五日特別列車で到着の筈であるから外蒙側の都合さへよければ豫定通り二十五日中に第一回會議が開かれる譯である

農林商工異動

【東京國通】農林商工兩省異動

水産局長 戸田保忠
補農務局長 東京營林局事務官 原辰二
補水産局長 會計課書記官 田淵敬治
補畜産局長 農林書記官 永井陽一
任營林局事務官 畜産局長 高橋武美
依願免本官 商工書記官兼臨時産業合理局事務官 岸信介

佛國內閣危機豫想さる

【パリ廿三日發國通】相次ぐ金流出にフランダン佛首相は愈よ財政獨裁權を要求、必死の防衛陣を確立するに決定したがフランス政界の一部には早くも內閣の危機が豫想されるに至つた、フランダン內閣が廿億フランに達する尨大な赤字を抱へてその對策に苦慮してゐる事は覆ひ難い事實である、金の流出、ヒットラー總統の强硬外交等に對抗するには一層廣汎な基礎に立つた擧國一致內閣を必要とするとの意見が漸次有力となつて來たらしく、來る廿八日下院の再開と共に政局の不安は表面化するのではないかと豫測される

英後繼內閣顏觸れ豫想

【ロンドン廿三日發國通】マクドナルド首相の掛冠は殆んど既定の事實と見られるに至つた爲めか、ボールドウィン後繼內閣の顏觸れに關し、早くも下馬評が亂れ飛んで居るがイーデン氏の外相、ネビル・チエンバレン氏の藏相居据りは動かぬ所と見られ、サイモン外相は內相に轉ずるものと豫想される、ボールドウィン內閣の主なる顏觸れは大体左の如く傳へられて居る

首相 ボールドウイン氏
樞相 マクドナルド氏
外相 イーデン氏
內相 サイモン氏
藏相 チエンバレン氏

尚ほ新內閣は遲くも茲三週間以內に實現するものと見られてゐる

孫匪大討伐に○○部隊長出動

（天津廿四日發國通）孫匪を遵化東南方尖山屯に擊破した○○部隊は目下山河橋に在り待機中であるが孫匪は三屯營に蟠居し附近農民を攪亂しつつあるを以てこれが徹底的殲滅を爲すべく○○部隊長自ら近く出動、全軍を指揮することとなつた

中美萬報に對し于學忠脅迫

【天津廿四日發國通】曩に暗殺された白晨報社社長は北支駐屯軍司令部調査班の囑託であつたことが判明したので酒井參謀長は强硬なる態度で近く于學忠に對しその責任を問ふこととなつた、これが爲于學忠は頗る驚愕してゐる模樣であるが一方藍衣社員を使嗾して强硬論を以て河北政府の譴責を追求する日本租界の漢字紙中美萬報に對し再三破壞計畫をめぐらしてゐるが又も廿四日朝恐迫狀を送り今後飽迄日本と提携し政府攻擊の筆を振ふときは爆彈を投擲しての手段を以て破壞すると云つて來るなど何等の誠意なく事態は益々紛糾する模樣である

産金買上價格

財政部は廿四日來週中の産金買上價格を次の通り發表した

一瓦に付國幣三圓四角五分

滿洲國內鐵道運賃統一要望
淸津より朝鮮商議へ提案

【京城二十五日發國通】朝鮮商議總會へ淸津商議提案左の通り

一、滿洲國に於ける各鐵道運賃率の統制及料金率低減方に關し朝鮮總督府に於て各關係當局に對し左記要點に基く改訂方交涉せられんことを要望す

（イ）滿洲國有鐵道の運賃率と滿鐵社線の賃率とを金建に換算し略同一程度ならしむる事
（ロ）滿洲國有鐵道の貨物等級別と滿鐵社線の貨物等級別を同一ならしむること
（ハ）實距離による粁程により計算し一律に長距離遞減法を採用すること
（ニ）內地への通し貨物の鐵道運賃と（接續地）鮮內海港打切りの鐵道運賃を同格にする事

一月以降四月迄銀輸出累計 二千六百餘萬圓

【東京國通】廿四日大藏省發表の貿易統計によれば四月中旬に於ける銀貨及び銀地金の海外輸出高は一千三百二十萬二千圓と最近の新記錄を示し一月以降四月までの輸出累計二千六百四十八萬四千圓と飛躍し昨年同期の百六十六萬五千圓に比し優に十六倍の巨額に達するに至つたこれは米國政府の銀政策に基く銀の流出を物語るもので注目さるべき現象であるがその經路は滿洲朝鮮方面を經由して內地に集まつたものが主としてロンドンに向けて輸出されてをり內地に於ける影響は單に物價[illegible]用の增加と云ふ點に止まるが滿洲方面の銀の流出により滿洲國金融界に重大な影響を與へるものとして注目される

新省、市長略歷

韓新京市長

本籍關東州金州、本年五十三歳、大正十年名古屋高等工業學校卒業後實業界に乘出し、山城裕華電氣公司總理、東亞實業公司總理、亞細亞製粉公司總辦、亞洲興業麵粉公司監理、東益倉庫金融會社長、哈爾濱取引所理事、哈爾濱商信託公司理事等に歷任し、北滿實業に重きをなしてゐたが、滿洲事變後黑龍江省政府參議となり、大同元年滿洲成立と共に黑龍江省實業廳長兼財政廳長、同年秋黑龍江省長となり實業、財政廳長を兼務したが辭任して金州の實家に引籠つてゐたが今回再び新京特別市長として返り咲いた

閻濱江省長

本籍奉天省金縣本年五十歳の働き盛り金州南金書院卒業後渡日し仙台の中學校及高等學校を經て東大經濟學部を卒業す大正十二年大連に來り滿鐵に入り兼務として關東廳囑託となる大正十五年滿鐵職員を辭し囑託となり昭和三年大連市會議員に擧げらる、滿洲事變後奉天政府諮議となつたが昭和七年（大同元年）奉天市長兼滿洲國協和會審査處長となり今日に至つた氏の奉天市長としての世評は綽々たるもので市政の獨裁者として敏腕を振つて來たが今回認められて濱江省長の榮譽を得た

金龍江省長

本籍吉林省本年四十九歳の少壯政治家、多年民間に在つたが滿洲事變後熙洽氏を扶けて吉林の獨立新國家建設に盡力し東北電政管理局長兼吉長、吉海三鐵路管理局長東北交通委員會副委員長、吉林鐵路守備軍司令官、長春市政籌備處長、長春執政府籌備辦事處督辦に任ぜられ滿洲國建國後新京市長となり國都の市政を見事切り廻し手腕を認められて今回龍江省長となつたが將來の民政部大臣を以て目される、同氏の省長振りは注目に價する

鄭建設局長

福建省福州人現籍新京前國務總理鄭孝胥氏の二男で總理秘書として官界の第一歩を踏み出し今回國都建設局長となる

施ハルビン市長

湖北省生れ現籍ハルビン、日本中央大學法律學校卒業後北京政府外交部僉事、科長、秘書等を經て大正十二年駐日支那代理公使、同十三年外交部駐哈特派員、吉林辦事處長となり事變に際し熙洽氏の下に省政府に參加し建國後吉林交涉署を經て滿洲國外交部北滿特派員となり北鐵讓渡交涉に活躍今回衆望を荷ひ市長となる

在滿朝鮮人國籍移脫反對氣勢を擧ぐ
林陸相渡滿を機會に

【京城國通】在滿朝鮮人國籍問題は林陸相の渡滿を機會に再燃し滿洲國籍日本國籍兩様の陳情と要望が雪崩れ込む形勢にあり、野口朝鮮人民會聯合會長は在滿朝鮮人を代表東京に赴き林陸相に會見、在滿朝鮮人國籍移脫大反對の口火を切つた、更に滿洲國奥地に居住する朝鮮人等も在留內地人と合流し大に反對の氣勢を擧げる事となり當局の措置は重視されてゐる

天皇機關說問題余震
政友會提案の共同聲明書內容

【東京國通】政友會では天皇機關說問題に關し各派に交涉の結果、廿四日午後二時議長官舍に於て各派代表の相談を開始する事となり政友側より島田、安藤、松野、民政側より小川、田中、國同側より小山、淸瀨、第一控室側より小池、江藤、岡本の諸氏出席先づ島田氏より「此會合は院議として成立せる各派共同の提案を徹底せしむべく各派の意向を纏める爲參集を乞ふたものである」との挨拶を述べ次で安藤氏より聲明書原文を示した後各派態度決定後成るべく早く再會合するに決定、午後三時半散會した、聲明書原文左の如し

そもそも去る議會で各派共同で提出し全會一致で可決したる國體明徵に關する決議の本旨は所謂天皇機關說排擊にあるは言を俟たざるところである、然るに政府は明かに善處すべきを公約しながらその實機關說が國體の本義に背馳する主旨を明確にせず徒らに中傷的言辭を弄するは國家の爲遺憾至極である、よつて吾人は重ねてここに政府が斷乎として機關說排擊の方針を闡明し適當なる措置を執らんことを要望す

民政國同の態度

【東京國通】民政黨は政友會の提唱の國體明徵の共同聲明に關する會合席上何等意見を述べずして小川、田中兩氏は引揚げたが黨の意向は國體明徵は必要なるも政府も今後措置を講ずると明言してゐるので政府に共同聲明する必要ありや否や、殊に聲明が政府攻擊或は倒閣を意味してゐるので政友の態度に歩調合せをする必要なく政府を督勵して善處したいと言ふ點にあるものと觀られ又國同も同樣意向を有し自重的態度を持してゐる

林陸相着連 記者團に語る

【大連國通】對滿事務局總裁の資格で在滿皇軍視察慰問及び現地狀況視察の爲去る廿二日神戸出帆の吉林丸に乘船した林陸相は永田軍務局長、大城戸滿蒙班長、有末秘書官、對滿事務局よりは岩畔事務官、內閣より横溝書記官を帶同、廿五日午前七時半大連に到着滿洲國皇帝陛下より勅使として御差遣の迪氏をはじめ關東軍西尾參謀長、原田第一課長以下各幕僚、土肥原奉天特務機關長、滿洲國側より矢田參議、大達總務次長、滿鐵側より林、八田正副總裁、田中旅順要塞司令官、濱田要港部司令官、山內電々總裁、小川市長等を始め在滿要人多數の出迎へ裡に上陸挨拶を爲した後自動車で一路宿舍ヤマトホテルに向つたが、これより先船中出迎への記者に對し左の如く語つた

今回の渡滿の目的は駐滿軍隊の視察訪問が主なるものであるが、併せて滿洲國の全般的狀況として自分の職柄と關係の深い關東局、滿鐵等の現地各機關及び附屬地の狀況を與ふ限り正しく認識し陸相として又對滿事務局總裁として今後の職責遂行に資したいと考へてゐる、御承知の如く先般滿洲國皇帝陛下には親しく我が日本を御訪問あらせられ御自ら日滿提携の範を御示しになられ茲に兩國の不可分の關係は益々鞏固となりましたことは誠に同慶に堪へぬ次第であります、今後とも我々は一層の努力を以て物心兩方面から融台一體の關係を固めたいと考へてゐる、今日の滿洲國の狀態は謂はば創業の時代で第一期の建設事業が終つたと觀ることが出來る、今後は此基礎を本として大いに內容の充實を圖らねばならぬ、これが爲には今後益々兩國の協力と關係各方面の努力が必要であると信ずる、又一方よりすれば國內の現狀は事變前のそれと一變してゐる、我々は此點に關して努めて正確なる認識を持ち相提携して滿洲國今後の發展及び兩國民の福祉增進を圖らねばならぬ、この見地に基き兩國不可分の關係を妨ぐるものあれば直ちに之を是正して行くことが肝要である、自分は今回の視察を最も効果的な視察に終らしめたいと考へて居るが何分時日の不足で充分目的を達し得ないかも知れない、然し今次の視察に於ては幾分でも得られた收穫を將來の方針に役立たしめたいと考へて居る次第だ

と結んだが更に以下記者の質問に對しては左の如く語つた

滿鐵改組問題に就ては自分が渡滿すれば俄かに同問題が再燃し歸國後直に實行に移されるかの如くに傳へられる向きもあるが、自分としてはこの問題に就ては別に取急ぐ必要は感じてゐない、勿論滿鐵、關東軍等の當事者にも會ひ夫々の事情立場、見解等を良く聞いて將來の參考に資したいと考へるのみで自分が改組問題を携げて來たかの如く見るのは當らない、北鐵接收による國防費の問題も將來の增減に就ては今のところ何とも云へぬはつきりさせる爲に現地を觀に行くといつた方が當つてゐるだらう、對支問題も大分時日が經つたが陸軍の態度は決して支那の親日態度を疑ふのではない、唯親日に轉じたいのならそれが精神となり事實となつて現れて來る筈だ、徒らに口さきで動かさるべきでないと言ふのだ、駐支公使館の昇格問題は外陸兩者間の連絡が完全でなかつたといふ點では遺憾である、然し根本的方針に就ては兩者の態度に懸隔がある譯ではなく今後とも益々親密なる連絡を保つて行きたいと考へてゐる

その日く

天皇機關說問題共同聲明、これが政黨內閣時代なら相當火花の散らうものを □ けふ楠公六百年祭、年流れて菊水榮え、尊氏を論じて大臣掛冠 □ 阿片街を調べた結果は日本人夫婦の醉ひしれた者、風紀を紊す女など〳〵 □ 巾が利くからといつてそんな處までのして歩く必要もあるまいに…… □ 天然痘續々發生、轉ばぬ先の杖、種痘をうけてから外出のこと

人事往來

▲安場保健氏（貴族院議員）二十四日午後來京中央ホテル投宿 ▲田中久平氏（滋賀縣縣會議員）同 ▲長野重左衛門氏（同）同 ▲津村芳男氏（同）同 ▲丁鴻源氏（台灣貨土業）二十四日午後來京國都ホテル投宿 ▲林輝寅氏（奉天貿易商）同 ▲岸貞一氏（熱河省土木課長）同 ▲服部倉太郎氏（請負業）同 ▲米內山庸夫氏（ハイラル領事）同 ▲森島守人氏（ハルビン總領事）廿四日國都ホテル一泊二十五日間島へ ▲世耕守氏（代議士）同 ▲刈谷守寅氏（日大法政部長）同 ▲文彝氏（宮內府屬）同 ▲韓雲階氏（新任新京市長）二十四日午後來京 ▲兒玉常雄氏（航空會社副社長）同 ▲安場保和男（貴族院議員）同 ▲青木重臣氏（關東局高等課長）二十五日午前歸京 ▲淸水本之助氏（同土木課長）同 ▲藤田少將（部隊長）同 ▲梶井軍醫監（關東軍々醫部長）二十四日午後發奉天へ ▲遠藤繁淸博士（大連保養院長）二十五日午前發大連へ ▲井野英一氏（最高法院庭長）同奉天へ ▲日高長次郎氏（本溪湖煤鐵公司員）廿四日午後來京名古屋ホテル投宿 ▲永橋繁氏（京城水産試驗場）同 ▲小宮熊男氏（大連、サッポロビール會社員）同 ▲山本廣喜氏（滿鐵社員）同 ▲末松北郎氏（樺太材木商）同 ▲藤井光藏氏（東京、淺野セメント會社員）二十四日午後來京ヤマトホテル投宿 ▲高木百行氏（同）同 ▲河野喜作氏（同）同 ▲堤芳雄氏（同）同 ▲淺野良三氏（同社長）同 ▲植村近平氏（新京神社神職）二十五日午前着任

團体

▲福岡縣會議員九名二十五日午後九時十六分引返來京同十一時發ハルビンへ二十七日午後七時二十五分引返來京同八時發南行 ▲貴族院議員滿洲視察團十名二十五日午後三時十分來京ヤマトホテル投宿二十八日午前九時二十分發ハルビンへ ▲京城師範普通科生百名二十五日午前六時四十分來京同九時二十分發ハルビンへ二十七日午前六時二十五分引返來京 ▲普成專門學生二十五日午前六時二十五分來京同七時十分發南行 ▲撫順高等女學生百二十二名二十五日午前七時三十五分來京同日午後十一時發南行 ▲福岡縣青年學校教員養成所生三十六名二十五日午後三時引返來京新京ホテル投宿二十六日午前八時發公主嶺へ ▲佐賀縣伊萬里商業學生七十八名二十五日午前六時四十分來京同日午後八時發南行 ▲羅南中學生六十四名二十五日午後九時十六分來京旭ホテル投宿二十六日午前七時十分發南行 ▲平壤公立中學生百十八名二十六日午前六時四十分來京二十七日午前九時二十分發ハルビンへ二十八日午後三時引返來京同四時發南行 ▲大邱師範學生六十五名二十六日午後二時來京同十時發南行 ▲南滿中學堂生五十二名二十六日午前六時四十分來京同九時二十分發ハルビンへ二十八日午後三時引返來京二十九日午前七時十分發南行 ▲吉林師範學生三十名二十六日午前十一時三十二分來京同日午後十時發南行 ▲吉林高等小學生六十七名二十六日午後三時十分來京同四時發南行

關東軍劍術大會

エイヤ／＼掛聲勇ましく

各兵科別に見る得意の術
軍の出場四六六名

關東軍第一回劍術大會は二十五日午前八時から警備隊營庭で各部隊の入場式があり續いて南關東軍司令官の訓示、終つて同三十分から設けられた五道場で第一、二道場銃劍術（歩兵）第三道場片手軍刀術（騎兵）、第四道場短劍術（砲兵）、第五道場兩手軍刀術（憲兵）が春空を破つて一齊にエイヤ／＼の掛聲で試合は花々しく開始された、この日空は花曇りで警庭道場のコンデションは良く一試合ごとに熱戰を重ね正午前には各部隊ともに白熱化し試合は最高頂に達した、本大會の出場選手は關東軍四百六十四名、部外四十四名である

訓示

茲に全關東軍の精銳と在滿地方錬達の士とを會同し軍劍術大會を開催するを得たるは本職の最も欣懷とする所なり惟ふに劍道は我が國武道の精粹にして其振否は實に軍並國民士氣の盛衰に關するもの極めて大なり而して今や時局愈々重大にして日本精神の作興洵に切實を要するものあり茲に候の間萬難を排し劍道大會を開催し劍道の眞精神を喚起せんとする所以にして本大會の意義眞に深厚なるものあり參加の戰士宜しく平素鍛錬の氣魄と蘊蓄とを傾け勇奮健鬪以て全能力を發揮すると共に將來益々斯道の練磨向上に努め士氣を振作し以て武道の精華を顯揚せんことを期すべし

昭和十年五月二十五日

關東軍司令官　南次郎

憲兵隊對抗
哈市勝つ

正午憲兵隊對抗試合は終了した、第一位はハルビンで廿一點を獲得、第二位新京十九點、第三位奉天、チ、ハル共に十五點、第四位延吉、承德共に十點であつた、優勝哈爾濱隊は曹長三段山本正男氏が全勝し殊勳をたてた、同氏對新京増田曹長四段の試合は見るものがあつた

（寫眞は南大將の訓示と熱戰）

〃日滿春の庭球〃
大衆的に賑やかに
あす西公園での催し

日滿對抗庭球戰は都合により中止になつた結果、日滿男女春の庭球大會として二十六日午前十時から西公園コートで本社後援の下に盛大に擧行されることになつたが前日までの參加申込男女六十組に達した、試合方法は紅白戰で森洋行、西山、文海堂の各運動具店から賞品の寄贈があり競技本位でなく大衆的に賑かに催さうといふ趣向である

人知れぬ努力の一人
當時測量隊員　幸傳氏（上）

砲煙彈雨、修羅の海上に波浪を蹴つて華々しい戰を鬪ふ第一線の勇士に較べてこれはまたあまりにも地味な人知れない犧牲の存在である――幸傳氏は當時海軍測量隊員の募集に應募して三十八年三月初旬大分縣佐賀關の濱を出發、軍屬として海軍測量隊第一號測量艇に乘組み、裏面にあつて而も第一線艦隊の活路を開く指針ともいふべき測量任務に盡し、時恰も日本海大海戰の當夜この曠古の戰捷も知らで大暴風雨の襲來に遭ひ測量艇は激浪に呑まれて轉覆、九死に一生を得て今日海戰三十周年の記念日を迎へ當時を回想して無量の感慨一入深いものがあるであらう、氏は一昨年六月渡滿、現在東三馬路五十號に假寓を構へ土木建築請負業をしてゐる

◇

測量艇と申しましても今からは想像することも出來ないやうな木造の舟で長さ六間ぐらゐ順風には白帆を張り逆風に遭へば間余の艪を漕いであの玄海の波濤を越へたものです當時測量隊はこんな舟六艘より成り自分らは初め第四號艇に乘組んでゐましたが後に釜山で第一號艇に乘り換へ全員七名[illegible]中佐を總指揮官として朝鮮半島西岸方面の測量に從事したのであります、はつきり覺へませんが今から考へますと二十四日だつたと思ひます、早朝いよ／＼釜山を出發して蔚山北方約五十五里の地點にあるチツピンといふ所の無電台に至る間の測量を行ふことゝなりました、途中海岸線の出入狀況、海深の測定等を行ひながら例の艪を押し帆を上げて三日三晩目、夜半十二時頃でしたでせう漸く目的地チツピンを隔る五里の地點カンダー沖に到着しました、

然しこの日二十七日、午前中は天氣晴朗にして帆は順風をはらんで海岸線を眺めながら北航をつゞけてゐましたが午後一時ごろになつて鹽風は次第に強くなり、剩へ夕刻に至つて雨を交へ海岸に碎ける白浪は山の如く大時化となつたのです、然しこの風浪を去けるべき避難所もこの邊の海岸には見つかりません行くべき所には行かねばならない――目的地チツピンの無電台を目指して暗夜に離航をつゞけ漸くもう僅か五里の航程で目的地に達するといふカンダーの沖に達した時――二十七日夜半十二時山なす海峽の怒濤は哀れこの木造の測量艇を呑んで日本海の一隅に數多の人知れぬ犧牲を出したのです

◇

顚覆の刹那、微かに中佐の叫び聲を聞いたやうな氣が致しますけれども一瞬間既に戰友六名の姿は勿論舟の影すら見失つて、波浪は山の如く猛り狂ひこの五尺の体は荒れ狂ふ激浪のまゝに捲かれては喘ぎ打たれては藻掻き「あゝ、どうして早く死なゝいのかな？」と幾度思つたか知れません、斯くして一時間、既に生への執着も盡き果てゝ泳ぐ力はなく時に息も絶え／＼の狀態に陷つた、とその瞬間何かドシンと強く体を打つたものがある、あつ、さては海岸に打ち上げられたのだなと思つて立ち上らんとしたけれども四肢は疲れてその力もない、また体に打つつかる、その痛さに氣力を取戾して、よく見ればそれは石です、大きな巖石が波に揺られて流れてゐるのです然し確かに海岸近く來てゐるに違ひないとは思ひましたけれども泳ぐだけの力は全くなく剩へこの巖石のため大腿部から腹部にかけて大負傷を負ひ既に死を覺悟して再び波に運命を任せてゐました

◇

然し未だ天命盡きず顚覆してから一時間の後自分の体は濱邊に打ち上げられてゐたのです褌一つの眞裸で鹽田の中に而も朱に染つて横たはつてゐる、やつと意識をとり戾して中佐を呼び戰友の名を叫んで暗夜の濱邊に嵐を衝いて往きつ戾りつ約三十分彼らは既に海底の藻屑となつてしまつたのだらうかそれとも自分と同じやうに何處かの濱邊に打ち上げられてゐるのではないだらうか？

阿片街を調べれば日本人女がウヨ／＼
夫婦で阿片に醉ふ官吏もある
新京署の非常警戒網

新京署では二十四日午後七時より市内の非常警戒に當つたが滿人阿片零賣所、風呂屋などで風俗を紊すものが相當あつたやうである、中には滿洲國某官廳の相當の地位にある日系青年官吏が夫妻とも阿片に醉ひしれてゐるのを發見され恐縮してゐたが最近日本人間で阿片の味を覺へて吸飲するものが益々多くなつてゐるやうである、それと日本人婦人で阿片零賣所と通じ風俗を紊してゐるものもあり當局は近く一齊手入れを行ひ斷乎たる處置に出るものゝ如くである

楠公記念展
盛會裡に幕開く

新京教化聯盟主催大楠公六百年祭記念史料展は二十五日午前八時よりその幕をあけたが會場新京滿鐵圖書館の入口には菊水旗二旒がヘンポンと初夏の微風になびいて六百年前の今日を偲ばせる、參觀者は開場と同時にどつと押しかけ市內各小公學校、普通學校、女學校兒童生徒等午前中の入場者は二千餘名に達する盛況である

海軍記念展
あすから開く
人氣呼ぶ水雷模型

海軍記念日に魁けて同記念展覽會は二十六日から三日間每日午前九時から午後五時まで記念公會堂二階で開催されるが、出品數百點、魚形水雷の爆破實景を如實に現はした模型などあり早くも人氣を呼んでゐるが入場は無料である

洋服商へ侵入

二十五日午前一時頃より午前三時頃までの間に市內東二條通二十七號洋服商宮本竹雄氏方のウヰンドウを破壞して陳列してあつた洋服、レインコート等六着時價百五十圓相當を竊取した犯人あり屆出に依り新京署では直ちに市內各方面に手配犯人逮捕につとめてゐる、犯行は長さ一尺四五寸の鐵棒を用ひて窓ガラスを破壞せるものゝ如く現場より二十間の場所にその鐵棒をなげすてゝゐた

自轉車泥捕はる

二十四日午後一時頃市內祝町四丁目附近を身分不相應の自轉車を所持して通行せる不審の支那人を新京署張特別巡捕が發見本署に連行取調べると本籍山西省太原府生れ住所不定林祥峯（二三）で二十二日南廣場中銀支行前で竊取したことを自白した署では自轉車の持主判明せず持て餘してゐるので心當りは至急申出られたいと

海軍記念日は公園入場無料
但し午前十一時迄

來る二十七日の海軍記念日祭典は同日正十時から公園海軍記念碑前で執り行はれることになつたので、當日は特に參列者の便宜のため午前十一時まで入場は一切無料にすることになつた

新京神社社司 植村氏着任

新京神社前神職井上香木氏の後任として就任することになつた同神社々司植村近平氏は二十五日午前八時五十分氏子總代その他の出迎へを受け着任、一旦神社々務所に入つたのち地方事務所を訪問し、總代長武田所長、幹事鯉沼地方係長に挨拶ののち今後の指示を受け種々打合せするところあつた

輸入組合運動會

新京輸入組合では恒例により一日午前十時より西公園夕陽ヶ丘で組合加盟店運動會を開催する

西本願寺日曜講話

二十六日（日曜）西本願寺に於て例週の通り午前九時日曜學校、午後一時半日曜講話がある
大無量壽經　光岡主任
白道を步む人　下平布教師

奉天春季第二次賽馬

奉天春季第二次賽馬が近く開催されるので馬政局では之に當嵌る第六回五萬圓搖彩票の發賣を去る廿二日より開始したが賣行頗る良好である

小さい藝術家
慈善演藝に應援
來る卅、卅一日の演藝大會に

滿洲託兒所の慈善演藝大會はいよ／＼この月末三十日と三十一日公會堂で開會する、これは篤志出演の黎明兒童舞踊會に屬する孃さん方です、この熱心な小さい藝術家の演出を觀てあげて下さい（寫眞向つて右から楠山さよ子さん、片桐葉子さん、片桐廣子さん、中島公子さん）

三十日と三十一日の兩夜公會堂で滿洲託兒所基金募集の慈善演藝大會が催されるので日滿各界から篤志出演者がなか／＼多い▲そのプログラムの最終を兩日ともに出演するサロン富士のだしもの舊劇傾城阿波の鳴戸巡禮歌の段▲お弓に扮するは富士のマスター高田君、おつるは九つになる山本ます子孃、淨瑠璃が曾我廼家の御大田中相生太夫といふコンビ、大に泣かせることでせう、入場者はかならずハンカチーフを忘れぬこと（寫眞は山本ます子孃）

天氣と氣溫

明日の天氣　南寄り風曇雨模樣
日の出　午前四時三分
日の入　午後七時八分
月の出　午前〇時廿三分
月の入　午後〇時十一分
けふの氣溫　最高　廿五度五
　　　　　　最低　十三度九

けふの鈔相場

國幣對金票　[illegible]
鈔票對金票　[illegible]
國幣對鈔票　[illegible]
現入洋對鈔票　[illegible]

新撰爆笑隊（禁上映上演）

鹿野九紫作　永田八浦關英太朗畫

現代篇　九五　避暑の惱み（一）

洋服屋は鯱子相手に月賦の苦勞ばなしである。

『ひどいのになりますと、品物を納めさせといて、さて、お拂ひの段になると、ゲップどころか、シャックリばかりなんてのがありましてね、なか〳〵思ふ通りの算盤が彈けません。』

『耳が痛いわね。折角遠方を來て貰つたんだから、私も何とか色をつけて上げたいと思ふんだけど、ほんとに如何にもならないのよ。せめて紅茶の冷やしたのでも飲んで行つて頂戴。』

『ははア、お茶で色をつけるといふ寸法ですかナ。』

『ほほほ、そんな心算ぢやないわ。それとも汲みたての冷水の方がいゝ?』

『いえ、もう結構です。さう申しちや失禮ですが、私はどうも、このラジューム入りの水ッて奴が性に合ひませんので……』

『あら、それぢやほんとに何のお愛想もないわね。——あゝ、左樣な。お勘定の代りにあくぼ千兩ッて景氣のいゝ唄でも聽かせて上げませう。』

天の岩戸はお神樂かぐら
笑顏ひとつで夜があける
千兩萬兩のお寶たから
あくぼひとつが、
ササ、身のたから
おなじ暮すなら笑顏でくらせ
泣けば照日もみなくもる
千兩萬兩のお寶だから
あくぼひとつに、
ササ、打ち込んだ

王『どうも御馳走さま——私はもう踊で勘定踊らして頂きます』

洋服屋はほう〳〵の態で坂家を飛出して、暑いきれのする野獄を河ダクの依然へと急いだ。

千両萬両のお寶たから ひとつにササ 打ち込んだ

『汽車賃を使つてあんな唄を聽いて歸るとは、隨分俺も間拔な奴だ。あッ畜生! 蛇かのそ〳〵しやがる。今日は一體何の日だらう暦を見て來るんだつけ……』

その暦が日ましに進んで、カレンダーが半分以上も薄くなると、即ち夏——

現代的文化生活の貧乏は、夏になると人一倍痛切に感じるものらしい。

埼玉縣浦和在皿沼の小說住宅に居を構へる斷髮夫人は、蚤と蚊に惱まされる夜の暑苦しさに堪へ兼ねて近所の誰彼れが何處の溫泉へ行つたとか、海水浴に出掛たとかいふ噂を耳にすると、居ても立てもゐられない。

『ねえ、慶さん、何とかならない?』

『何か……』

『この家、狹くて暑いわね。』

『トタン屋根の平屋と來ちや堪らないさ。』

『あんたいやに悟つてるのね』

『あゝ、心頭滅却すれば火も亦涼し。——』

『なアに、それ?』

『暑い時のお呪禁だよ。』

『三遍いふと涼しくなるの?』

『うーん、昔の坊主が痩我慢にいひ出したのさ。それをいゝ事にして、避暑に行けない連中が負惜しみに每年繰返して使ふ譫言だ』

『それぢや百貨店の氷柱よかつまんないのね。』

『ははん、男もあの氷柱の仲間かい。』

『まさか、いくらなんだつて私にや出來ないわ。——森田さんの奧さん、先日、お嬢さんと子供を三人も伴れて行つて、代はり番こに金魚の凍つた氷柱に觸つて、二時間も涼んで來たさうよ』

一階はお惣菜みになると閑散な行の本店に行つて、いゝ氣持ちに居眠りして來る。

ラヂオ

廿六日（日曜）新京

（午前之部）
六、〇〇 建國體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
七、〇〇 建國體操（滿語）
七、一五 ラヂオ體操（大連）
七、三二 朝の音樂（大連）
八、三〇 子供の時間（東京）
神詣 東照宮 —日光東照宮より中繼—
九、三〇 子供の時間（奉天）
唱歌 奉天市立三經路兩級小學校
一〇、〇〇 大楠公六百年祭大法要—楠公記念—
大阪府長野觀心寺より中繼
大導師 高野山管長 大増正 高岡隆心
左導師 觀心寺貫館
右導師 延軍寺覺城
一〇、四〇 演 戲
一、貴妃醉酒
二、覇王別姬
青衣 寶四
胡絃 張立明
鋼胡 王子文
一〇、五九 時 報（東京）
一一、〇二 工場音樂（奉天）
鞍山昭和製鋼所ブラスバンド
指揮 袖岡守造
一、昭和製鋼所社歌
二、森の鍛冶屋
一一、五〇 社會見學 —全日滿中繼—
—鞍山昭和製鋼所より中繼—
（午後之部）
〇、二〇 常磐津（東京）
小紫權八廓仇夢
淨瑠璃 常磐津節太夫
同 常磐津春字太夫
同 常磐津都糸治大夫
三味線 常磐津市松
上調子 常磐津小文糸
〇、五〇 講 談（東京）
紀の國屋文左衛門 神田山陽
一、二〇 野球試合實況
東京大學野球聯盟リーグ戰
—明治神宮外苑野球場より中繼—
法政對慶應 立教對早大
備考 左の放送時刻には中斷す
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
野球取止めの場合は左を追加します
一、二〇 富 本（東京）
鴛鴦 開睦（新おし鳥） 下の巻 富本豐前 外
一、五〇 浪花節（東京）
忠僕直助 東家三樂
二、二〇 義太夫（東京）
義經千本櫻（鮨屋の段）
（新人）淨瑠璃 島 精一
三味線 野澤道之助
五、〇〇 子供の時間（大阪）
連續童話劇 スミトラ物語
豐島與志雄 原作
林 二九太 脚色
第一回 手品師になる話
BKコドモサークル
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 ニュース
六、三〇 蒙古事情特別講座「第四講」
蒙古の興隆と國內蒙古民族の現情
蒙政部總務司長 關口 保
七、〇〇 謠 曲（東京）
夜討曾我
シテ 五郎 梅若六郎
ツレ 十郎 梅若影英
ツレ 團三郎 梅若武久
ツレ 鬼王 平井宗一郎
ツレ 五郎丸 小泉准吾
ツレ 古屋五郎 酒井三知男
地 梅若六郎
地 梅若影英
笛 田中一次
小鼓 天野光郎
大鼓 佐伯 寶
七、四〇 ラヂオドラマ（大阪）
湊川 永井飄齋案 大西利夫作
配役
楠正成 實川延若
楠正季 嵐 吉三郎
和田賢五郎 實川鴈正
神宮寺正房 中村扇
大塚掃部助 市川市昇
平石孫次郎 實川芋鴈
家臣一 實川實三郎
同 二 實川八百藏
同 三 實川芦鴈
同 四 實川鴈三郎
同 五 實川鴈若
大薩摩 坂東德二郎
三味線 中村新三郎
外 囃子連中
八、三〇 時報、ニュース（東京）
八、四五 ニュース、氣象通報 番組豫告（滿語）
九、〇〇 蒙古事情特別講座「第五講」（滿語）
興安各省産業概觀 蒙政部行政科長 瑪尼巴達喇
九、三〇 舊劇 南天門 戲劇研究社票友
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）

新京店頭裝飾競技會　豫想投票用紙

一等	
二等	1席
	2席
三等	1席
	2席
	3席
住所	
氏名	

締切五月廿八日午後九時

一人一票に限る

用紙外の投票無效

新京店頭裝飾競技會　豫想投票用紙

一等	
二等	1席
	2席
三等	1席
	2席
	3席
住所	
氏名	

締切五月廿八日午後九時

一人一票に限る

用紙外の投票無效

寄附

故國防婦人會城內第二分會副會長長野勝子女史の遺志を繼いで長野氏は二十四日同分會に國防基金として金三十圓を寄附した

居住消息

轉居

▲梶井貞吉氏（東京府）白菊町一丁目三號陸軍官舍へ
▲波治敏郎氏日本橋通りから吉野町五丁目十番地へ
▲萩原槇次郎氏祝町から永樂町三丁目七番地へ

出生

▲後郷滿氏（蓬萊町一丁目一號地）長男直已さん十九日出生
▲大上義市氏（平安町一丁目十一號地）次女年代さん十五日出生
▲和泉正男氏（和泉町三丁目十六號地）次女道子さん十六日出生

死亡

▲十倉銀三郎氏（住吉町三丁目二番地）二十四日午前一時十五分死亡
▲小林正一氏（永樂町三丁目一番地）二十四日午前零時二十分死亡

五月二十六日 日曜 壬寅 先負 收 星宿 舊四月二十四日

●一白の人 利口振りて人の信用を失ひ易き日注意せよ 乙と丙と丁が吉
●二黑の人 鯉を逃がし雜魚を得るも捕らざるに優さる 庚と辛と丑が吉
●三碧の人 質朴を主とし內を守るべし外に在ては不利 丙と丁と丑が吉
●四綠の人 一時順風に乘り出すも後は逆浪に逢ひ易し 甲と乙と丙が吉
●五黃の人 氣を締め油斷なく勵むときは大望も成べし 庚と辛と丑が吉
●六白の人 小人の言を妄信するときは不測の災を招く 甲と辛と丑が吉
●七赤の人 此まで紛糾し居りし事も有利に解決すべし 丙と庚と辛が吉
●八白の人 小なることに心を痛めず大處に着眼すべし 庚と辛と丑が吉
●九紫の人 大事な所まで漕ぎ付けて後力の足らざる日 乙と癸と丑が吉

重大化の國幣急落 中銀の對策如何

支那の資金引揚げによるもの

銀本位たる滿洲國幣は昨年滿大落勢を辿つて居り新京對日爲替も昨年十一月の百廿圓台より四月末の百十圓合まで約十圓方低落を示し最近略一週間內に百九圓より百五圓合までの急落を演じ國幣の信用に對し動搖を來し中央銀行の之れに對する態度が注目されるに至つた

五月一日よりの低落振りを示すと

日	相場
一日	一〇九、八〇〇
三日	一一〇、四〇〇
六日	一〇九、六〇〇
九日	一〇九、〇〇〇
十日	一〇八、五〇〇
十一日	一〇八、〇〇〇
十三日	一〇五、七〇〇
十四日	一〇五、七〇〇
十五日	一〇六、七〇〇
十六日	一〇六、九〇〇
十七日	一〇五、八〇〇
十八日	一〇六、五〇〇
十九日	一〇六、八〇〇
廿一日	一〇六、五〇〇
廿二日	一〇四、三〇〇
廿三日	一〇四、二〇〇
廿四日	一〇四、五〇〇

此の原因は北鐵讓渡に伴ふ從業員退職資金支拂が除々に行はれた之を外貨に變へられてゐるため軟調を呈してゐる所へ支那人が國幣鈔票を滿洲國內に於ける銀紙幣を賣つて資金を引揚げてゐることに依るものであらう、中央銀行では極力國幣對日本圓相場動搖を防いではゐるが何分にも同銀行の資金貧弱なため（オペレーション）之の對策と金圓統一問題と併せて中銀の態度は注目されてゐる

行惱む 滿洲パルプ工業

滿洲におけるパルプ工業は豐富なる針葉樹の森林伐採權を得たる東滿、滿洲、共榮、日滿の四社に依つて各林區の材積調査を完了關東軍に報告書を提出其の認可を待つのみになつてゐるが當局の森林立國策は未だ確立しない爲め停頓狀態にある、滿鐵の調査によれば滿洲に於ける立木總蓄積量は大小興安嶺が百五十億石でこの中パルプ用材を二割と見ても三十億石又興安嶺を除外しても尚十二億石となる、これは年六十萬噸のパルプが生產される譯で從つて前記四社が事業を開始する樣になれば上記六十萬噸の三分の一程度は生產される事になるので例へパルプの質が粗惡で人絹用に適さないとも製紙用パルプの不足を補ふことは出來るので滿洲におけるパルプ事業の將來は注目されてゐる

萎縮し切つた 株式市場 立直り望み薄

【東京國通】市場の人氣は最近極度に萎縮し買方は全く孤立無援の立場に陷り此間にあつて軟派の賣崩しが抗爭して新東は二十四日前場遂に四十圓の大關門を下廻つて三十九圓八十錢と最近の新安値に慘落するに至つたが、流石に軟派も四十圓割れは一應利喰ひ場所と見てゐるので大引は四十圓八十錢と小戾りした、これにつれて日產も前日の九十錢の安値にまで賣立て、人絹株も此情勢を眺めて益々不安を募らせ短期の帝人新株、東洋レーヨン新株は共に七十圓割れを演じ暗澹たる空氣の中に爾今の諸株も一齊に軟化して長期休會中の內氣配を著しく惡化せしめ仕手關係は益々賣方に有利となり賣方が勢ひに驟して賣叩く以上多少の利喰ひ戾しを見るとしても立直りば容易に期待されぬ有樣となつてゐる

南洋開發 調査隊派遣

【東京國通】南洋群島の調査開發に就ては嚢に拓務省內に拓相を會長とする南洋群島開發調查會が設置され關係各省との間に數次に亘つて開發方針が議せられ、林南洋長官はこれが大綱案を携行歸任したが、拓務省では近日來連日省議の結果、明年度より向ふ五ケ年計畫の下に南洋群島產業開發、交通金融網を整備し現在大部分未開の儘放任されてゐる同群島全體に亘り面目を一新すべく取敢えず以上の意氣込みを以て乘出す事となつた、而してこれが爲來月中旬より向ふ三ケ月間の豫定で三班よりなる調查隊を南洋各島に派遣する事となつた

割引步合引上げは豫算の均衡確保の爲

―フランス銀行聲明―

【パリ廿三日發國通】フランス國立銀行が廿三日割引步合を三步に引上げた結果、金本位の將來に就き種々の臆測が加へられるに至つたが、フランス銀行當局は金本位制に何等の懸念ない旨言明廿三日夜次の意嚮を表明した

一、割引步合を引上げたのは全くフラン貨に對する投機取引を防止する爲で若し今回の手段で不充分な場合には通貨買上げ値段を引上げてフラン貨の流出を阻止する方針である

一、フランス銀行には現在八十パーセントの金準備あり金本位に就ては些かの懸念もない

一、政府は下院に財政上の仲裁權を要求するが金本位とは直接關係なく、要するに豫算の均衡を確保する手段に外ならぬ

觀測 日本爲替銀行筋

【東京國通】フランス國立銀行は過般のベルギー、オランダ、スイス等の例に倣つて廿三日公定割引步合を二分半より三分に引上げ金本位ブロックの一般的危機は遂にブロックの盟主たるフランスを脅すに至つたが右に關し日本爲替銀行筋では大體次の如く觀測してゐる

フラン貨の危機を思はせるに充分の惡材料は多々あるのでスペキユレーターの跳梁を增長せしめてゐるが今回の利上げ事情がフランの投機取引防止にあるとしても果して單なる金利政策によつて資金の逃避を防止し得るや否や甚だ疑問である然し今後事態の惡化につれて第二、第三の手段が講ぜられるかも知れぬ、フランス金本位の今後の發展如何は一般に見透し困難であるとしてゐるが現在の諸事情から推して危機が豫想外に切迫しつつあるものと觀られる

大阪商船が 優秀貨物船建造

【大阪國通】曩きに日本ブラジル兩國の經濟的接近殊に我經濟使節のブラジル訪問を轉期としてブラジル棉買付が具體化しつゝあるが、之に着目した大阪商船では目下建造中の七千噸級貨物船二隻の中一隻を南米航路に充當する豫定で更に船腹不足の見込みで一萬噸廿一浬級の快速優秀貨客船二隻乃至三隻の建造計畫を樹てゝゐる、即ち同航路に現在使用中のものはリオデジャネロ丸の九千六百噸十九浬級二隻及びモンテビデオ丸の七千三百噸十七浬級三隻で右は何れも移民を收容するを目的として建造されたものであるが棉花の如き一時的に殺到する貨物を取扱ふ爲には移民船では性能的にも不適當なので棉花を目標に世界優秀の快速貨物船を建造する事になつたものである

長春酒

或る方面の實際家達が集つての話であるが、一年中仕事が同じやうな忙しさでない、そのため忙しくなると職人の爭奪が起りその結果として賃銀が不當に高く釣り上げられるといふのである、これは同業者組合も出來てゐない業界での話だが、成る程な

滿洲國に於ける 關稅の話（一）

關稅の話を致しますに當り先づ關稅とは何であるかと云ふことを申上げなければなりませんが學問的に定義を下すことは頗る困難なことでありますが極く説明的に砕いて申上げますと「關稅とは國家が財政上の收入を擧げ產業の保護を計る等の爲に法令に基いて貨物か關稅線と稱する一定の境界を越して移動するとき其の貨物に對し賦課徵收する租稅である」と云ふことが出來ます、大切なことは國家が財政上收入をあげ產業の保護を計る等の爲に法令に基いて賦課する租稅であることです租稅でありますから手數料等と違ひ非報償的で片務的ではありますが之を賦課徵收する所以は國家の財政上の收入をあげ國內の產業を保護する等國家の財政經濟政策上絶對に必要だからであります、決して面白半分に商民の財產權を剝奪する爲のでありません、さうしなければ國家の財政か破綻し國內の產業が衰微するからであります、此の點は充分に理解して欲しいと存じます、そうすれば國家が關稅確保の爲には强制して假借するところのない所以も自ら御了解になるのであります

關稅の性質は右の樣な次第で從つて一國の關稅問題は其の國の財政收入、產業保護其の他に關する國家の基本的重要內政問題でありますが之を國際的に觀察致しますと一方國の關稅上の施設は一般內國稅に於ける場合と違つて地方國の經濟に直接至大の影響を有するものであるから常に外交問題の一大部門となり國際經濟上の重大研究題目として屢々「ヂュネヴ」に於て論議されてゐます又此の關稅問題の沿革は其の時代其の時代の國內事情やら外交關係やらを明瞭に反映して具れ洵に興味のあることです併し短時間のことで此の政策方面のことを論じたり沿革を繙いたりするの餘裕がありませんから專ら我が滿洲國關稅に關する現在の狀況を御紹介するに止めます

滿洲國の關稅行政は海關の接收に生誕してゐます、海關の接收は大同元年六月二十七日から一週間に亘つて斷行されたのでありますが一體建國の當時には支那の海關機關として上海總稅務司の管下に於て國內には大連、安東、龍井村、奉天、琿春、愛琿の各地に海關、滿洲里、綏芬河等十六個所に其の分關、分卡があり又南京財政部關務處の管下に於て安東、營口、哈爾濱、延吉、愛琿の各地に海關監督公署と云ふものがあつて、其の中稅關監督公署は愛琿を除いて建國と共に容易に滿洲國の機關として財政部の指揮に從ふことになつたに反し海關、所謂國際的行政機關の性質を有し東三省政權の支配を受けてゐなかつた關係上直ちに之を滿洲國の機關として活動させることが出來ず其の接收は當時の國際情勢に鑑み且又接收の稅關機能の維持を考慮すると極めて困難な問題であつたが案ずるより產むが易く諸工作順調に進んで大同元年六月二十七日大連海關の接收を始とし七月三日迄に安東、營口、龍井村、琿春、哈爾濱の各主要海關の接收を遂行することが出來「滿洲國の對中華民國輸出入品並に船舶に對する課稅制度等改正に關する聲明書」なる產聲を高々と中外にあげ得たのであります

此の樣に海關の接收に依つて滿洲國の關稅行政が生れ出たのでありますが關稅徵收の方法、態樣、稅率等關稅に關する規定は其の急激なる變更による混亂を憂へ一先づ從來の規定、慣行を尊重することゝし、僅少財政部員と接收の際本邦に轉屬した百二十五名の舊關員を以て稅關行政のスタートを切り之を死守したのであります、爾今滿三年其の苦鬪漸く報ひられて躍進又躍進駸々乎として整備に向ひつつあるは洵に同慶に堪えない次第で御座ゐます

商況欄（五月廿五日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	三四片八分一
同 遠限	三四片八分三
紐育銀塊	七六仙八分一
孟買銀塊	八一留比八分一
スチール株	三四弗四分三
アナゴンダ株	一七弗二分一
米英爲替	四弗八三仙四分一
米日爲替	二九弗〇三仙
米支爲替	四一弗八七仙
英日爲替	一志二片八分一
英支爲替	一志八片二分五
英米爲替	四弗九四仙八分五
印日爲替	七八留比八分一

▲米棉

限月	相場
現物	一二仙三五
五月限	納會
七月限	一一仙九六
十月限	一一仙九六
十二月限	一一仙七五
一月限	一一仙七八
三月限	一一仙八一

▲印棉

品目	相場
ブローチ	二五一留比
オームラ	二一四留比
ベンゴール	一四三留比

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	八八仙〇〇
七月限	八八仙二分一
九月限	八九仙二分一

▲カルカツタ麻袋

品目	相場
當筋	二八留比一六分一
錢筋	二五留比四分一

金銀市況

●上海標金 昨引 七六七、五〇　本寄 六三二、〇〇 … 六三二、五〇　步 六三四、〇〇

●大連金鈔票 現物 寄付 二三六、〇〇　引 二三七、六〇　出來高 不明　五月廿八日限 寄付 二三八、八〇　六月十三日限 二三八、六〇　步 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 引 出出高 不明　不明

●奉天國幣金票 現物 一〇四、四〇　▲五月廿八日限 九六三、〇〇

●奉天國幣鈔票 現物 一二三、六〇　出來高 九〇、〇〇　▲五月廿八日限 一二三、八〇〇

爲替相場

●哈爾濱國幣金票 引 出來高 一二三、〇〇　現物 休會　▲六月十二日限　六月二十七日限 寄 引 神社祭 休會

●安東國幣金票 現物 一〇四、六〇　▲五月廿八日限 一〇四、七〇　六月十三日限 一〇四、五〇　昨引 出來高 本寄 一〇四、〇〇 一〇、三五〇

▲上海爲替 ▲日本向 第一回～第四回 賣買 一四四、〇〇〇 ～ 一四三、二五〇　▲倫敦向 第一回～第三回 賣買 一志六片四分一 ～ 一志六片四分三　▲紐育向 第一回～第三回 賣買 四一弗八分七 ～ 四一弗八分三

▲大連爲替 ▲上海向 一二一、〇〇〇 ～ 一二四、〇〇〇　▲臺灣向 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 賣買 休會

▲阪神日英爲替 第一回 賣買 休會

株式相場

▲大阪株式（短期） 大新、鐘新、東新、日產 寄 引 [illegible]

▲大連株式（短期） 五品新、豆新、鈔新、東新、日產、滿鐵新、二新 寄 引 [illegible]

▲奉天株式（短期） 滿取、東新、鐘新 寄 一〇〇、〇〇 一三一、五〇 引 一三九、八〇

商品市況

▲大阪綿糸 寄 引 五月限～十二月限 [illegible]

▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]

▲神戶豆粕 五月限～八月限 [illegible]

特產市況

●大連大豆 袋込 五月限～九月限 [illegible]　●同 豆粕　●同 豆油　●同 高粱　●哈爾濱大豆　●同 小麥 [illegible]

新京取引所市況（五月二十四日前場）

●大豆 現物（一石値段）定期（混合百斤値段） 寄 引 出來高　現物 五月限 四、〇八 四、〇九 五車　六月限 四、一七 四、一七 九車　七月限 四、二三 四、二三 二四車　八月限 四、二六 四、二七 一〇車

●高粱 現物 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

●鈔票對金票 五月二十八日限　六月十三日限 寄 一三九、八〇 引 出來高

●國幣對鈔票 五月二十八日限 六月十三日限 [illegible]

●錢鈔 國幣對金票 鈔票對金票 國幣對鈔票 [illegible]

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁

孫匪の主力部隊に全滅的打擊加ふ
川岸部隊孫匪討伐隊の偉動
我軍にも相當の損傷

(二十五日午後三時二十分關東軍發表)川岸部隊に屬する孫匪討伐隊は孫匪の集團が撤河橋西南二里、三屯營西北方二里の柴伏廠附近にあるを知り且其の陣地は毛山溝(三屯營西北二里)北方五〇六米の高地並に河北作戰當時の稜線に沿ひ構築せる塹壕に依れるを知り五月二十三日行動を起し、二十四日拂曉より攻擊を開始し、之を完全包圍し步砲兵火を集中し、嶮難なる山地を越え、稜線に沿ひて逐次敵を壓迫し午後零時十分全く該高地を占領し孫の主力に全滅的打擊を加へ今後の行動を準備中なり、我軍にも相當の打擊あるも目下調査中

關東軍司令部發表—川岸本部隊に於ては五月初旬以來山田部隊を以て匪賊猖獗を極めた興隆縣方面の討伐實施中であつたが、該方面は峻嶮なる山岳重疊し、部隊の行動困難を極め、討伐の進捗は極めて困難なるものがあつた、元來此方面には救國義勇軍と自稱する孫永勤一派が國外よりの支援を受け隨時長城の內外に出入して前駐屯の杉原本部隊の討伐にも巧みにその鋭鋒を避け勢力逐次增大して今次の討伐當初にはその數約一千と稱せられてゐた、此處に於て山田部隊長は地形と

匪賊
の特性に鑑み小部隊を廣大なる地域に分散し匪團を包圍し、逐次その包圍圏を縮小して討伐を行ふ策に出た、斯くして隨所に匪賊に大打擊を與へ、討伐開始後二週間の間に遺棄死体だけでも二百餘に及ぶ損害を與へたのであるが、孫永勤は巧みに嚴重なる包圍の網目に隙を求めて長城線外に逃れ出たのであつた、その部下も互に相連絡して長城を越え十八、九日頃には約四百名遵化附近に集結した、之は孫匪の慣用手段であつて追ひ詰められゝば北支に逃げ、又勢力を盛り返へして熱河に歸る、之が熱河討伐の最も困難なるところで孫匪にとつては今度が三度目の逃避行であつた、川岸本部隊長は苟も滿洲國の治安を脅するものはその所在の如何に拘らず、天地の間に存在を許さざる皇軍の大方針に基き

斷乎
兵を北支に進めるに決し山田部隊を喜峰口南方撒河橋並に羅文谷南方下營附近に集結し、討匪の準備を命ぜられた、元來遵化附近は停戰協定の區域で本軍は自由に行動して差支へないのであるが、何分にも中國の領土であるから、作戰行動には愼重の態度をとり、爲し得可くんば中國側をして之を討伐せしめてその面子を立てさせる可く、その實行を遵化縣長に要求したが、言を左右に托して敢て討伐を行はざるのみならず、諸情報は皆孫匪援助のみにして匪團の位置を確證するさへ困難なる狀態であつた、かくて山田部隊長も遂に縣長に對し廿四時間以內に討伐せざるに於ては日本軍は任意の行動をとる旨を宣言し、縣長は之を諒承して引下つた、川岸部隊長は廿四日午後五時參謀を隨へて惡氣流を突破して撤河溝戰鬪司令部に到着し山田部隊長より縣長は保安隊民團等孫匪の倍以上の兵力を擁し遵化東北方三里の毛山溝一帶の地域を占領してゐる孫匪を

包圍
の体勢にあり乍ら既に二日に至るも一向討伐せざることを知り斷乎日本軍を以て之を擊滅するに決し山田部隊長に討伐の實行を命じた、山田部隊長は一戰以て孫匪を必ず擊滅するの固き信念の下に二十三日夜折柄の雨を衝いて夫々行動を起し包圍の配備についた、

戰鬪は二十四日拂曉我近接を知つて脫出せんとした孫匪の一部李連貴匪百五十が石井部隊の正面に現出し、之を五十米の近距離に接近せしめ一時に銃火を開いて一擧に之を潰滅したに始まり、續いて毛山溝高地に對する砲擊となつた川岸部隊長は連絡用のモス機に搭乘して午前七時撤河橋出發戰場の上空を低空飛行し河北作戰當時中國軍が毛山溝高地に構築せる

塹壕
に據る匪團を認め我が飛行機が近づくや日章旗をひろげて其の位置を示す我が部隊の位置を見て君は完全に匪團を包圍せるを確認し通信筒を投下して山田部隊長に對し「安心せよ、我等に確實に敵を包圍せり」との通知をなした、兵團長自ら敵情を偵察して第一線に情報を與へたのは從來餘り戰史にも聞かないほゝえましい光景であつた、第一線部隊は本部隊の激勵により勇躍前進し包圍圏を縮少し午後零時十五分敵を全滅し日章旗は毛山溝高地最高部に翻飜として飜つた

殲滅
戰場掃除の結果匪賊の遺棄屍體三百餘、鹵獲せる小銃、拳銃は二百餘の多きに上つた斯くして四百名と目された匪團は半日の戰鬪に文字通り殲滅せられ、孫永勤並に其參謀長官有元の死體も最後の複廓陣地から收容された然し何分にも完全に包圍された匪賊の死物狂ひの抵抗は物凄く我にも將校一、下士一、兵四の戰死者と下士官以下九名の重輕傷者を出したのは誠に遺憾であるが、熱河治安の礎石として尊き犠牲であつた

孫永勤等の死体發見さる
毛山溝で我軍にも死傷

關東軍司令部發表—毛山溝附近の戰鬪に參加せる敵匪は約四百名にして遺棄死体は三百を越ゆ、その中に匪首孫永勤及同參謀長官有元が入つてゐた、鹵獲品は小銃拳銃二百五十、我軍の戰死者は將校一、下士一、兵一、重傷者二、輕傷者一

壯烈毛山溝の華!
田邊少尉の戰死

毛山溝高地の戰鬪で悲壯な戰死を遂げた田邊少尉の最期は鬼神を泣かしむるものがあつた、田邊少尉は第四十六期の青年將校で今回の討伐でも最初から勇敢に活動、數々の功績を樹てたが、廿四日の攻擊中遵化東北方約三里の吳家溝に於て午前六時廿分致命の一彈を受けその場にどつと斃れたのであつた、直ちに馳け寄つて抱き起した中隊長に「私は駄目です、邪魔になるから早く拳銃で片附けて中隊は前進して下さい」と言ひ斷末魔の聲を絞つて「天皇陛下萬歲」を叫んだ、そして「何も思ひ殘すことはありません、君が代と陛下の萬歲を三唱して下さい」ととぎれ勝ちに述べると共に息絕えたのであつた

謝駐日大使の帝國政府承認通告
=今月末に發せられん=

【東京國通】駐日滿洲國公使館の大使館昇格の件で初代駐日大使の人選は過般來日滿兩國政府間に於て交渉を進めつゝあつたが滿洲國政府は初代大使として前外交部大臣謝介石氏を起用するに正式決定、南駐滿大使を通じて廿五日廣田外相宛て謝介石氏に對する帝國政府のアグレマンを要請し來つた、よつて廣田外相は右に關して上奏御裁下の手續きを執つたが滿洲國に對するアグレマン通告は今月末と觀られる、斯くて來月中に謝介石駐日大使は東京着、日滿兩國の大使交換は茲に實現し兩國の特殊關係の具体化は愈々緊密化する事となつた

金龍江省長の特任式

今次の國務總理大臣異動に伴ふ省長其の他の人事の成行は各方面より多大の興味を以て見られてゐるが、國務大臣の奏請による金璧東氏の人事は廿五日參議府會議にかけられ、直に可決され、御裁可の手續きを經て午後二時同氏の特任式が宮中に於て行はれた(宮廷府式場に向ふ金龍江省長)

滿洲里會議の外蒙側代表未到着

【滿洲里國通】遂に滿洲里會議開催豫定日たる廿五日も來たが、外蒙代表は午前中姿を滿洲里に見せなかつた、佐々木嚴柳に對する宮本武藏の戰法といふ譯でもあるまいが、午後にでもなつたら涼しい顏で乘込んで來るのかも知れない、數日來手ぐすね引いて待構へてゐる新聞通信關係者は早くも聊か氣合拔けの態であるが、流石に滿洲國側代表は極めて冷靜である

一兩日の遲延免れず

午後三時滿洲里會議代表部發表—二十五日當地代表部に入つた外蒙側の公文に依れば外蒙側代表一行は廿五日庫倫發ウエルフネウヂンスクを經ザバイカル鐵道に依り入滿の由にて最も速かなる方法たる庫倫ウエルフネウヂンスク間を飛行機を利用せば廿六日頃となるべく多少遲延を見るは避け難きも結局會議開催は確實となつた、尙外蒙側隨員はドクノローン、ヂルンブ、チミトドルヂ、ヂブグン、ロフスンドンスフの諸氏である

暹羅國議員團明日來京
來京中の日程

シヤム國議員團一行は二十七日午後五時三十分あじあで來京直に太陽ホテルに投宿二十八九兩日左の日程で日滿官廳を訪問し三十日午前十時あじあで離京することになつた滯京日程は左の如くである

▲二十八日
午前 滿日各官廳訪問
一〇、〇〇 外交部
一〇、三〇 日本大使館
一一、〇〇 國務院—總理大臣
一一、三〇 市政公署
一一、五〇 大和ホテル着 休憩
後〇、三〇 晝餐 於大和ホテル 主催 新京市長
二、三〇—四、〇〇 建設區域視察
四、〇〇—六、〇〇 自由
六、三〇 晩餐 於大陸春 主催 外交部大臣 食後餘興 滿洲紹介フキルム映寫

▲二十九日
午前 希望者は淨源潭水源池、南嶺運動場等視察或は公主嶺又は哈爾濱行
正午 晝餐 於日本大使官邸 主催 日本大使
後四、三〇迄 自由
四、三〇 滿シヤ兩國に關する座談會 中銀倶樂部
六、〇〇 晩餐會 於中銀倶樂部 主催 滿洲國協和會

▲三十日
午前 一〇、〇〇 あじあにて離京

昨日の林陸相大連各方面訪問

【大連國通】大連上陸後大和ホテルに入つた林陸相は小憩の後九時廿分永田軍務局長、大城戶滿蒙班長有末秘書官等を隨へてホテル發 忠靈塔に向ひ英靈眠る塔前に敬禮をさゝげた後大連神社に參拜、續いて十時廿分滿鐵を訪問 三階總裁應接室に於て林總裁、八田副總裁以下在連各理事の挨拶を受け滿鐵最近の社業一般の狀態を各擔當理事より聽取して十一時五分退去同十分埠頭着埠頭ビル屋上より東洋一を誇る大連港を望み杉本埠頭長の說明を聽取した後十一時五十五分滿洲館に於る滿鐵の 招待午餐會に臨んだ

內閣調査局 調査官十名 正式發令

【東京國通】內閣調査局勅任及び奏任調査官十名は廿五日正式發令を見た、勅任調査官は既報の通り五名、奏任調査官は左の通り
內務書記官 中村敬之進
內務事務官兼內務書記官 田中重之
大藏事務官兼大藏書記官 松隈秀雄
資源局事務官兼拓務事務官 內田源平
農林事務官 和田博雄
遞信局事務官兼遞信書記官 奧村喜和男
商工事務官 橋井眞
任內閣調査局調査官(各通)
內閣東北振興事務局書記官 桑原幹根
陸軍省步兵大佐 鈴木貞一
海軍大佐 鈴木嘉輔
兼任內閣調査局調査官(各通)

大藏省の審議會諮問事項

【東京國通】大藏省は勅任、奏任調査官として省內隨一の人物として折紙附きの山田豫算課長、松隈經理課長を調査局に送る事に決定、今後之等兩調査官と本省との關聯を密接にし愈々內閣審議會に於て高橋藏相年來の希望たる國防財政並に產業の調和實現に邁進せんと期してゐるが、大藏省關係の審議會諮問事項として豫想されてゐるもの左の如くである
一、地方財政調整一、中央地方を通じた財政整理一、關稅政策一、庶民金融一、負債整理一、日滿金融統制一、公債政策
同大藏省は爲替、幣制、通貨政策に關して問題の性質上特に內閣審議會と關聯せしめざる方針である

貴族院議員滿洲視察團來京

一條實孝公ほか貴族院議員一行は躍進途上にある滿洲國を視察する爲去る十六日東京發渡滿の途についたが、二十五日午後三時十分着列車にて京圖線經由新京に到着した

(新京驛着の一行と出迎への長岡廳長)

貴族院議員團きのふ來京

貴族院議員視察團一行は豫定を變更し二十五日午後三時十分吉林より來京、同四時新京神社および忠靈塔に參拜後自由行動ののち大和ホテルに泊り廿六日は午前八時關東軍司令官を官邸に訪問、南嶺および市中見學、中食のうへ午後一時三十分津田駐滿海軍部司令官を訪問し、同二時から寬城子戰蹟、同飛行場、市中見學、五時三十分南軍司令官の官邸における招宴に臨みホテル歸還、二十七日は午前十時滿洲國皇帝陛下に拜謁を賜ひ同時四十分張國務總理、長岡總務廳長、各參議らを訪問、午後一時から大陸春に於ける張總理の招宴に臨み、二時三十分國都建設局觀察、三時文教部、三時二十分司法部、三時三十分外交部、四時財政部四時三十分交通部を歷訪、六時長岡總務廳長の招宴に臨みホテル歸還、翌二十八日午前九時二十分發で哈爾濱に向ふ豫定である

日滿文化協會評議員會 日本側評議員

五月三十一日より奉天に於て開催せられる日滿文化協會評議員會に出席の日本側評議員は岡部子爵、岡野貞一、原田淑人、白鳥庫吉、市村𤏐次郎、伊東忠太、羽田亨、濱田耕作池田宏の九氏である

天然痘に脅えて、けふ此頃の種痘場は大入り滿員、お蔭でお醫者さんは汗だく／＼でこぼしてゐるが、いつかペスト患者發生當時の情景が想ひ浮んで苦笑さゝれる▼日頃は落着いてゐても、いざ敵の襲來とあつて忽ち顏色をかへてあはてるのは世の中ではあるがこれを當のお醫者にいはせると衞生思想の缺如と說く▼別に新京人の衞生觀念を云爲するわけではないが、去る兒童愛護週間に一般の健康診斷を受付けたところ、二日間に僅かに二、三名▼切角出張して來たお醫者も看護婦も手持無沙汰で遂には居眠りを始めたといふなどは笑ひごとではなく考へて宜しからう▼あす五月二十七日は海軍記念日であり本年は恰も三十周年に當るので當新京でも盛んな行事が催される、皇國の興廢をこの一戰に賭して空前絕後の快勝を博した▼當時の司令長官東鄕元帥は今は亡き人とはなつたがその勳功は赫々として永へに殘るもの、吾等はこの想ひ出の日に際して更に一層無量の感慨にふけるものだ

人事往來
▲飯井定吉氏(大阪エビス會社社長)二十五日午後設率天へ
▲古田正武氏(司法部總務司長)同歸京

社說

日本海々戰三十周年を迎へて

あす二十七日は皇國の興廢をかけた日本海大海戰に我が海軍が見事巨豪バルチック艦隊を擊滅してから丁度三十周年記念日である、日本內地は勿論滿洲でも此意義深き日を想起して國民の非常時意識を强化するため大々的な記念祭が擧行されることゝなつてゐる

◇

想へば日本海々戰の大捷こそ躍進日本の今日をあらしめた劃期的な事件であつた、巨國ロシアを徹底的に敗退せしめた當時の一小國日本は俄然世界の一大驚異として國際舞臺に登場、その後三十年の日本の雄飛は實に目覺しいかつた、今や皇國の進むところ行くとして可ならざるなき勢をもつて世界を指導しつゝある、今更乍ら日本海々戰の勝利の意義深いことを想到せざるを得ない而して當時の一小國日本が巨大なるロシアを擊破することが出來たのは全く擧國一致の至誠になるもので、國民の協力こそ非常時突破の最大力といはなければならない

◇

海軍では本年は三十周年記念日でもあり非常時第一年に當るので

日本海軍の强化こそ日滿兩國の國防を安固ならしめ東洋平和の基礎を確立するものである、海軍問題は非常時局解決の最大要素であるとの主旨をもつて海軍に對する國民の理解と協力に拍車をかけてゐる、三十年前の我が海軍の旺盛なる意氣と今日までの我が海軍の充實がもたらした國運の進展を思ひ國民は軍縮問題に當面せる帝國刻下の非常時に對する決意を固める好個な機會である、今や國際情勢はます／＼緊張して列國間の諸問題の歸趨は全く豫測を許さない狀態で、正に三十年前の非常時の再來である

我が海軍は再び「皇國興廢」を雙肩に擔つて進まんとしてゐる、國民はこの重大時局突破に向つて我が海軍と協力不退轉の決意をもつて前進しなくてはならない

天皇機關說に關する陸軍當局の見解 (八)

帝國在鄕軍人會本部發表

次に法人說設定の無用なる所以を述ぶるのであるが抑々天皇が我が日本を統治し給ふとは建國以來我が國民の信念する所であつて、我が數千年の歷史に於て時に思想の動搖を見しことありとは謂へ、我等を統治し給ふものを天皇に在らずとせしことあるを聽かず、現在に於ても依然として變らぬ信念を抱いて居る、即ち我等は天皇の統治の下にこそあれ、國家なる擬制法人の統治を受けありなどと考へぬのであつて、彼等自由學派の所謂社會的意識なる語を籍りて言へば、此信念こそ實に我が國民の社會的意識と認むべきものではあるまいか

然り、而して、此學說に於ても、此天皇の統治の事實を必ずしも否定するのではないやうであるが、然らば何故に「統治權」と「統治するの事實」とを分けて論ずるの必要があるのであらうか、それは、國家を法人と見なければ法理論的に國家生活の說明が出來ぬと云ふこと、及、統治權を天皇が有し給ふとせば、天皇は之を御一身の利益の爲に使用し給ふことも在り得べきことゝなると云ふこと、の大體二つの理由に基くやうである

併し乍ら、前者に就ては、既に「第一」に於て述べたる如く、法を以て國家統治の根本を律せざるべからざる必要は、歐米諸國に於てこそあれ、國民生活の具體的中心を現實に具有する我が國に於て其必要を感ぜぬことを知らねばならぬ、我が國に於ては、國體の儼存するありて、統治の主體は常に儼として具現化されて居るが故に、國家を法人になぞらへ、此に統治權の所在を認めて總べての法の淵源とするの迂遠なる理論を附會する迄も無いのである天皇統治の在りのまゝの事實を認むることに依つて、爾餘の統治權は儼として存し、他の規律は自ら律せられるのである、此國體の事實の認識足らずして徒らに理論一點張の解釋を試みんとする所に、既に此所說の不自然なる因が宿つて居る、若し夫れ、後者の杞憂に至つては、歐洲に於ける專政君主の歷史に眩惑せられて我が天皇統治の眞義に徹せざるものと云ふの外はない

要するに、國家法人說なるものは、帝國憲法の解釋に不必要なる假說であるのみならず其不自然なる假說を學說として成立せしむる爲「統治なる事實」と「統治權」との間に無用の理論を弄し、延いては天皇機關說を持ち出すに至つて、遂に一般國民の間に多少に拘らず我が國體に對する疑惑を釀成し、其害する所亦少からぬものがある、若し、此の如き思想を以て美濃部博士の所謂社會的意識と爲さんとするが如き宣傳、運動等が試みらるゝとせば、それは國體に對する我が國民の信念を故らに變革せんとするものであつて、斷乎として之を取締るの要ありと信ずる次第である

滿鐵社債發行條件 未だ決定せず 第一回三千萬圓

滿鐵に於いては本年度事業資金として二億一千余萬圓を必要としてゐるが、その內一億四千萬圓は社債を以てこれに充てることになつてゐる、これに關して最近、社債發行條件を一層緩和し有利にせしめよといふ議論がシンヂケート團の一部で起つて注目されてゐる、右社債の第一回分は三千萬圓の筈であるが、これは目下の所では四分三厘、十五年期限といふことになつてゐるこれに對して現在の市場に適合せずとして上述の反對があるのであるが、シンヂケート團幹事の興銀では右意見に反對し、現在の市場は思はしくないが、滿鐵社債は標準物ではあり、簡單に條件を變ふべきではない、殊にそれがため舊債に影響し、又今後の分に支障を來すことを考へねばならぬといふことを言つてゐる、何れに落ち着くか兎も角注意に値ひする問題とその情勢であらう

滿鐵改組の緊切 (一)

大連 岡本理治

曾て奉天總領事であり、後伊太利駐剳大使たり、現在無任所大使として閑地位に在る吉田茂氏を、滿洲關係の或人が訪問し、『此頃は、どうですか』と訊ねし處吉田氏は『此頃は阿呆に非ざれば羽振は利かんなあ』と答へしとのことなるが、此一言は日本內地並に滿洲に亘りて、意味深長であり、又眞理である。

▽……△

滿洲事變の勃發する二三年前東京に發行された「東洋經濟」と謂ふ雜誌の社說欄に、「滿洲獨立論」とか謂ふ題目にて此頃滿洲の獨立を說くものがあるが、如此徒輩は、夜明方の幽靈にて、引込みがつかざるべしとの意味のことを記してあつた。私は其意味を喚める爲めに次の如き意味のことを書きたる、書翰を同誌の編輯長に送つた。

▽……△

滿洲は愛親覺羅氏興隆と共に旗人の全數を擁して關內に移住せし爲め、一百余年無人の地となり、且つ封禁されて漢人の移民を嚴禁された故に、此期間無歷史の地となり又無主の地となつた、此無主の地へ、滿朝の綱紀の弛緩と共に漢人が潛入し來りて、定着した『コロンブスの發見以前の北米は、元より無主の地であつた。コロンブスの米大陸發見は一四九二年にて、アングロサクソンが北米經營に從事せしは、一五八四年のサー、ウオルター、ローレーの殖民事業始り、後の北米合衆國獨立の基礎は一六二〇年、プリモスロツクに上陸せしピルグリム、ファザースの一團に始る。漢人の滿洲潛入は今より約一百年位以前にて、日本人の滿洲經綸は約三十年前に始るアングロサクソン人は西班牙人に後るる事約百三十年にして、北米に來り、日本人は漢人に後るること七十年にて滿洲に來た、今日北米はアングロサクソンの支配下にあり世界の何人も其不合理を倡ふるものはない、是れはアングロサクソンが確實に北米文化の開發に効驗したからである日本人の滿洲に於けるは、僅に七十年しか漢人に後れてゐず、文化の開發進步に効驗せしは、北米に於けるアングロサクソン以上である、然らば此無主の地に、日本人が主導者となりて、漢人其他の民族と共に、獨立國を作るは、其正當を價値付けらるべき充分の理由がある、如此論議を提倡するものが何故夜明けの幽靈なる乎

▽……△

私は、昭和二年九月、奉天に排日大示威運動ありし際、奉天新聞十週年紀念講演會あり其席上「滿蒙は世界文化のパレスタイン」なる題目の下に始めて、滿洲が滿蒙自由國として、獨立すべき必然性を說いた。吾曹は東洋經濟とは對立的意見を有するものである一體、日本內地人は在滿同胞を侮蔑する傾向にある、殖民の第一線に立つ同胞を蔑視し差別待遇を與ふることは最も愚劣なる政策なれ共、古來屢之を敢行された、其典型的にして最愚なるものは西班牙のそれであつた、西班牙政府は、亞米利加に生れたる同胞は之をクレオールと稱し、日本內地人が吾曹を滿洲ゴロと稱する如き差別待遇を與へた西班牙政府はクレオールには敎育を授くるを好まず、リマの高等學校の學生に向つて、其地の副王が訓示せし詞の中に、諸君は祈禱の詞を讀み書き、且つこれを口演することを學べ、亞米利加人の知らざるべからざるは之に止ると謂つた。又此等のクレオールには主治者の地位を與ふることを望まず、凡ての官職を西班牙本國生れの者にのみ與へ、百六十人の副王中、クレオールは僅に四人に過ぎず、又天主敎の監督の數一六七三年迄に三百六十九人なりし中に、クレオールは十二人あるに止つた。斯る愚劣なる政策は遂に、其播きし種を、刈らずしては救らないのである、一八一〇年頃より此等のクレオールは北はヴエネジユラに起り南はアルゼンチンの聖雄的將軍サン、マルチンに統率されて、西班牙政府に反抗し遂に各地に獨立の共和國を建立して、今日の南米を形成した、日本內地人は反省し戒心すべきである

▽……△

滿洲の獨立は吾曹の信念である。現下の頹廢せる日本朝野の智識階級等に其援助を期待するものでない、吾曹は自己獨自の願力を以て之を成就すべきである、東洋經濟は日本內地にては大雜誌の一つである。須らく三思して其愚を覺るべきであると謂つた。之に對しては元より、何の回答もなかつた、是れは日本內地の記者道德の低級を意味する。外、何者もないと私は信ずる滿洲事變後滿洲國が獨立したる後は東洋經濟は洒々として滿洲國の成立を謳してゐる、私は彼等の厚顏無恥に驚かざるを得ない

誠忠を偲び 室町生忠靈塔へ

二十五日の楠公六百年祭は市內各學校とも記念式を催して偉人の誠忠を偲んだが室町尋常高等小學校三年生以下は午前九時より夕陽丘の忠靈塔を參拜し四年以上は武道大會を催した

郵船定時株主總會

【東京國通】日本郵船會社では廿四日午後定時株主總會を開催既報の通り當期利益處分案二分增配の年五分を可決した

警視廳の暴力團狩 四千人に達す

【東京國通】警視廳が暴力團狩りを開始してからの檢擧總數は既に四千人に上つた、此中最多數を占めてゐるのは何といつても恐喝で一千三百九十七名といふ數字を示し純然たる暴力行動は比較的少く二百十七名である、又釋放された者は千四百九十二名で拘留處分は千八百七十七名、殘りの六百三十三名が檢束處分といふ譯である

奉天博物館開館式に 岡部子爵等來滿

來る三十日奉天で開催される日滿文化協會評議員會および六月一日擧行される國立奉天博物館の開館式に出席のため岡部子爵をはじめ岡野貞、原田淑人、白鳥庫吉、市村讚次郞、伊東忠太、羽田亨、濱田耕作の各評議員は二十四日渡滿の途に就いたが濱田博士は總會終了後熱河方面の古代建築物の研究に赴くはず

讀者の聲

◀中略はとらず▶ 氏名住所明記の事

不快な南廣場

謹啓貴社益々御隆盛之段奉賀候 陳者貴社に於て市內綠化運動に付き常に市民の注意喚起に努力せらるゝ事市民の一員として感謝罷在次第に御座候 然るに附屬地に於て目貫の場所にある南廣場が何等の施設なく單に苦力の集合地として放置せらるゝは都市の美觀上よりするも甚だ遺憾とする處に有之候間貴社の力を以て是が綠化施設促進せらるれば一般市民の甚だ幸福とする處と被存候尙地方事務所の意見を貴紙上に御揭載被下候はゞ幸甚の至に御座候先は右御願迄（一愛讀者）

滿洲國辭令

任國道局技佐敍薦任四等 寺師虎之助
康德二年四月二十三日
任國道局技佐敍薦任六等 奧村勝
康德二年四月二十五日
（各通）
任熱河省公署屬官敍委任二等 高宮稔 松本藤次郞 高橋清 加藤志朗
任熱河省公署屬官敍委任三等 岸川秉輔 佐久間鐵次郞
（各通）
任熱河省公署屬官敍委任二等 桑木保馬
任熱河省公署屬官敍委任一等 嘉瀨浩志 靑本敏彥
（各通）
任熱河省公署屬官敍委任二等 高間廣 田川博明
任熱河省公署屬官敍委任三等 篁良次郞
任熱河省公署技士敍委任三等
（各通）
大野甚七 天內淺五郞 田村元
任熱河省公署屬官敍委任二等 野坂敏雄
任熱河省公署警佐敍委任二等 竹安儀三郞
任熱河省公署屬官敍委任二等
（各通）
妹尾辰二 針木泰雄
任熱河省公署屬官敍委任三等 松田堅太郞

商況欄 (五月廿五日後場)

金銀市況

●上海標金 前引 [illegible] 後寄 午後 步 土曜日 休會

●大連金鈔票 現物 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible] 五月二十八日限 六月十三日限 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 現物 [illegible] 出來高 [illegible]

●奉天國幣對金票 現物 [illegible] ▲五月廿八日限 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 一四四、〇〇 買 一四四、五〇 第二回 土曜日 第三回 午後休會

▲倫敦向 第一回 賣買 一志六片 一六分五 八分三 第二回 休 第三回 會

▲紐育向 第一回 賣買 四二弗 八〇〇 八分一〇 第二回 休 第三回 會

▲大連爲替 ▲上海向 第一回 一一三、四〇〇 一一三、五〇〇 一一三、五〇〇 一一三、七〇〇 ▲煙台向 一一三、六〇〇 一一三、四〇〇 一一四、〇〇〇 一一三、八〇〇 一一三、八〇〇 一一三、七〇〇 一一三、六〇〇

▲阪神日米爲替 第一回賣買 楠公六百年祭

▲阪神日英爲替 第一回賣買 休會

株式相場

土曜日ニ付キ各地株式 ●大阪棉系 ●棉花人絹 ●橫濱生糸 ●大連麻袋 後場休會

特產市況

●大連大豆 袋込 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]
●同 豆粕 現物 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]
●同 豆油 現物 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 [illegible]
●同 高粱 現物 [illegible]
●哈爾濱大豆 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]
●同 小麥 六月限 七月限 八月限 [illegible]

新京取引所市況

●鈔票對金票 二十八日限 十三日限 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible]
●國幣對鈔票 二十八日限 十三日限 寄 [illegible] 引 [illegible] 出來高 [illegible]

手形交換 (二十五日)

金票 一九二枚 [illegible] 鈔票 三五枚 [illegible] 國幣 一九一枚 [illegible]

畑週報現物氣配

銘柄	拂込	最近配當	時價
四分利(二)	一〇〇、一	四	九八、五〇
滿洲建國	一〇〇、一	五	一〇一、二〇
滿洲四分	一〇〇、一	四	九七、〇〇
正隆銀行	五〇、一	四	三一、〇〇
滿洲銀行	五〇、一	四	三一、〇〇
新京銀行	五〇、一	五	三一、〇〇
滿鐵新株	二〇、一	八	二六、三〇
東京電燈	五〇、一	四	四七、九〇
鬼怒川水電	五〇、一	五	四四、五〇
大同電親	五〇、一	繰越	四二、〇〇
大同電新	一二、五〇	繰越	八、七〇
電信電話	一二、五〇	六	一六、八〇
電信電乙	一二、五〇	六	一四、五〇
新京取信	二五、〇〇	欠損	一一、〇〇
東洋拓新	二五、〇〇	繰越	九、〇〇
鞍山不動	二〇、一	繰越	一七、五〇
旭紡績株	一二、〇〇	六	六三、三〇
滿洲紡績	五〇、一	一〇	五二、五〇
滿洲製麻	二五、〇〇	一〇	一九、五〇
奉天麻新	一二、五〇	一〇	九、三〇
日滿亞麻	一二、五〇	未配	一六、八〇
滿洲棉花	一二、五〇	六	五一、五〇
日本糖新	二五、五〇	一〇	四九、〇〇
北海製糖	五〇、一	八	二一、五〇
滿洲麥酒	二〇、一	未配	四九、八〇
日滿製紛	五〇、一	未配	一〇、四〇
商船新	一二、五〇	五	二三、〇〇
川崎造船	五〇、一	未配	二五、八〇
滿洲興業	二五、〇〇	八	一六、〇〇
土木企業	一二、五〇	八	二八、五〇
新京建物	五〇、一	一〇	九、五〇
東亞殖產	二〇、一	五	六、三〇
太陽產業	五〇、一	無配	三、八〇
周水土地	一二、五〇	無配	三、一〇
滿洲工廠	二〇、一	八	二二、一〇
滿洲化工	二五、〇〇		二九、五〇
日滿アルミ	二五、〇〇	四	一七、〇〇
東滿パルプ	一二、五〇	未配	八、〇〇
東亞煙新	二〇、一	九	三一、〇〇
山魯漁新	一二、五〇	一二	一六、八〇
大陸窯業			六、三〇
滿洲セメント	一二、五〇	未配	九、八〇
哈爾賓セメント	一二、五〇	未配	九、九〇
日本電工	五〇、一	三	×口六八、五〇
同新	一二、五〇	三	×一八、一〇

北滿

農村再建目指し 農民學校を設立
賓縣城外に耕作地を劃し 理想の歩み輝やかし

【ハルビン支局發】現在全滿各縣に於て最も重大且つ速急を要する問題は何といつても農民の歸縣工作であらう、積年の匪禍に加ふるに二回の水災により農民の生活は根底から剝奪され農民よ何處に行くと聞けば必らず地獄の底へと答へるより他に答辯の方法がない樣な慘状である、今や農村の再建が各方面から論じられて居るが濱江公省實業廳では全面的に農村の窮乏を打開するため積極策を講じてゐるが、先づ農村の再建は將來の農村を擔つて立つ優秀な中堅青年の養成にあることに着眼し農民學校を設立して農村の中堅たる人物を養成することになつた

之が第一着手として賓縣に堀忠雄農學士を指導者としてこの程農民學校が開設された

十八歳から廿五歳までの青年三十二名を收容し農業技術の實際的訓練をなすとともに、農民魂を陶冶するために徹底的精神訓練をも併せ行ひ農村再建の中心人物として恥しからぬ人物を育て上げる

農業試驗地として賓縣城外に五十天地の地を劃して耕作にあたり模範農耕地たらしめる、將來は種物の配給農作物の販賣統制などにも乘出す方針で、日本の產業組合式の經濟機關としても活躍をなす筈で大なる期待がつながれてゐる、且つ農家經濟の實情調査、農產品の品評會なども時々開催して品種改良、優良品獎勵などをなす意向で以て農村の合理化 農村自治の訓練など農民學校に課せられてゐる期待は頗る大きい

農民學校出身者が部落の中堅人物として活躍するときこそ北滿農村の合理化と經濟的再建の成就する日であらう

實業廳は各縣當局を督勵してこの種農民學校を設けて名實ともに農村の自力更生の實をあげんとしてゐる

專任市長の決定に
湧き立つ哈市

【ハルビン國通】呂榮寰省長の民政部大臣就任で急に空いた大きい椅子の一つハルビン特別市市長は今度こそ專任になるだらうと噂こそ高いが果して誰が來ることになるか全く五里霧中のところ現外交部特派員としてハルビンとは建國以來馴染み深い施履本氏に內定したとの報が入つてハルビンでは知るも知らぬも双手を擧げて此上もない適任者だと喜んでゐる、佐藤總務長は僕が過日新京に行つた時にもさうではないかと感じたことだつたが公電こそないが恐らくその通りだらう、これで專任市長も決つたし我々部下も心氣を新にウンと働けるといふものだと語つてゐる、樓上の各署員達は「さうだらうと思つた」と口では言ひながらも實はいづれも寢耳に水らしく、それでも如何にも一安心といつた態である、しかし專任市長の決定と共に市公署の機構は當然多少の縮少を見るだらうと豫期されてゐる

犯罪都市の振肅策奏効
次は科學的施設の完備へ

【ハルビン支局發】エロの都犯罪の都としての哈爾濱の名は既に久しい、最近は哈爾濱警察廳管下十一警察署にそれぞれ日系指導官を配して警察機構の全面的建直しに努力してゐるため警察事務も著しく改善され、警察機能の振肅を見てゐることは喜ばしい傾向である、今刑事科調査による四月分の犯罪統計は

發生件數に對し檢擧率は八四パーセントとなつて居り檢擧人員は一千六十四名で一日三十五名の罪人が檢擧の網にかかつてゐるわけである、この中女の犯罪は阿片法違反者十八名を筆頭に夫子供を捨て去つたといふ家庭妨害者八名と傷害罪三名が目立つてゐる、最近の犯罪傾向として盗匪が非常に減少してゐる事で以前は毎日七、八件發生することは珍しくなかつた、被害高も萬圓を數へるやうに大きかつたが、最近は多くて日に三件、少い時は全然發生を見ないこともあり被害も百圓とか、五十圓とか、大きくて千圓止まりで被害高も非常に少なくなつた、次に智能犯は漸增の數字を示してゐる、之は日系警官が配屬されて以來、今まで警察に持込んでも解決されなかつた詐欺、橫領事件など要領よく解決されるため數字的に件數の增加を示してゐる

以上要するに犯罪都市の汚名を塗り換えるためには警察の今一段の精勵が待望される譯で今後は犯罪も複雜性を帶びて來る事とて、科學的施設の完備と法醫學上の人材とを充實することは緊急を要する問題とされてゐる

濱江省衛生科の
醫療機關調査

【ハルビン支局發】濱江公署衛生科では管下廿七縣、一旗當局に對し管內の西洋醫、漢法醫、藥劑師、助產士の詳細報告を命じてゐたがこの程特區關係の警察署よりの報告があつた、尙縣當局よりの報告もぼつぼつ到着してゐるがまだ整理されてゐない、特區關係を示せば左の如くであるが人口數に比較して、如何に醫療機關が整備してゐないかを如實に示してゐる、正式に助產士の免狀を下附されてゐるもの一名の報告があつたきりで之又婦人科方面の分娩設備が完備してゐないことを物語つてゐる

地名	種別	數
昂々溪	中醫	一八
	西醫	一一
穆稜	中醫	三
	西醫	二
滿溝	中醫	五
	西醫	五
綏芬河	中醫	二
	西醫	一〇
札蘭屯	日本醫師	一名
安達	中醫	一五
	西醫	一五
滿洲里	西醫	九
張家灣	中醫	三
	西醫	四
牡丹江	中醫	七
	西醫	四
一面坡	中醫	四
	西醫	五
	助產士	一
雙城堡	ナシ	
二層甸子	中醫	三
	西醫	二
寬城子	中醫	六
橫道河子	西醫	一
海拉爾	西醫	九

大連放送局に
錄音裝置
電々に申請中

【大連國通】放送局で放送する講演、演藝が放送後種々問題となる場合が往々にあり、又貴重な講演で肉聲を殘して置き度いものがあつても、滿洲の放送局には錄音裝置がないため問題の起つた折の辯解が辯解にならず、又は肉聲を殘して置く譯にも行かず、最も困るのは特殊の鳥其他の鳴聲を放送する場合、テストで成功しても實際放送の場合は失敗する事も多いので、錄音裝置の必要は放送關係者のみならず、一般から要望されてゐたが、今度大連放送局は五千圓位の和製錄音裝置を設置する事となり電々本社に申請する運びとなつた、此裝置は大連だけでなく奉天、新京、ハルビンの各放送局にも設置が考慮されて居る

哈市電話網の改良工作進捗す
近く使用料金制度も改正

【ハルビン支局發】電々會社哈爾濱管理處では昨年來莫大なる經費を計上して兎角故障の多かつた電線をケーブル線に取替へ哈爾濱市民の通信機關の改良に努力して來たがそれもほゞ完成し後は整備するため各部分々々の修理を行ふのみとなり改良工事も進捗したので、今後は現在まで不足を感じてゐた電話機の增設をなすこととなりその經費十萬五千圓を計上して準備を急いでゐる、現在數六千個中實際に使用されてゐるもの四千六百個で、新設計畫の千個と幾數を合計すれば實數千四百個の餘裕がある、北鐵接收後の哈爾濱の人口が如何に激增しても千四百個の電話機が準備されてゐれば結構その需要に應じられる、懸案の道外電話公司も三月十九日に合併成立しその統制下に置かれ哈市電話の一元化の實現をみたが、道裡方面の電話使用の激增に鑑み交換機の一部を分轄して道裡分局を經費六十萬圓を投じて設立する事となり本社の認可あり次第六月を期して二ケ年計畫で起工される筈である、次に電話使用料金制度の改革が電々本社で企圖されて居り哈爾濱管理局も本社の意を体して早晚度數制に變更することに決定をみた、大体滿洲の電話料金は關東州內の日本電話と、滿洲國側電話とを比較すれば非常な差異があり舊料金をそのまま踏襲してゐるために種々の不合理があるので之を一元的に統一する必要あり、其結果理想とする使用度數に依る料金の制定をなす事に決定した、先づ之が試驗工作として度數計の設備してある六百個の自動式電話を希望者に使用せしめその成績良好なれば哈市全体の電話を右の樣式に改める筈である、度數を記錄する機械設置をなすには莫大なる費用を必要とするので急速なる改良工作は至難であらうが近い將來は間違ひなく度數制の料金制度が實施される運びとならう

南滿

大野總長
所管巡視

【大連國通】大野關東局總長は二十四日午前十一時半大連署に向ひ州內各警察署を一巡し終つて遞信局、電電會社、取引所、觀測所、水產試驗所、地方法院、檢察局を視察し正午滿洲館における滿鐵招宴に臨み午後は二時より資源館を見學し沙河口神社に參拜午後六時ホテルに於ける市民主催の歡迎會に出席の筈

在奉保險諸社代表
租稅法規一部改正請願

【奉天國通】在奉保險會社三井系九社、三菱、東洋、海上日本等廿社代表者は、廿四日午前奉天總領事館を訪問、滿洲國の租稅法規の一部改正方を請願し來つた

即ち日本人保險會社發行の保險證券に對しては、會社側は治外法權を享有してゐる關係上課稅の義務なきため、印紙を貼付せずして發行、被保險者に交付してゐたが、奉天省稅務監督署にては滿洲國租稅法規中(外國人の發行する保險證券に印花貼附なきときは被保險者を處罰する)とあるを楯に罰金を課し或は證券を沒收する等被保險者に少なからざる損失、迷惑をかけ從つて被保險者は已むなく治外法權を有せざる他の外國保險會社に契約せんとする傾向にあり、かくては今日迄多年多大の犧牲を拂つて獲得した地盤が根底から覆されるに至るを慮り當局に法規の改正或は適用緩和を請願し來つたものであるが、最に新京に於て保險會社統制會議が開催された折柄とて成行注目されてゐる

瞻楡縣農民に
粥飯施行

【鄭家屯支局發】瞻楡縣管內は昨年の水災に依り作物不作となり現在播植の季節に於ても種子すら食ひ盡し今や縣內各區に於て救濟を有する貧民の數七千六百餘人に及び縣長以下各界に於て此れが救濟資金として一萬六千餘元の寄附を得、近くこれらの貧民に一日九石三斗五升の粥飯を施與することゝなつた

益々旺んの
密輸出入
銀がトップ

【奉天國通】關係筋の調査に依れば瓦房店、安東及び圖們等に於る密輸益々殷盛を極め殊に銀密輸は最近採算有利となつた爲最も多く從來の貨物密輸業者は大部分は銀密輸に轉向する等今や密輸は銀に限られてゐるかの感を呈してゐる、然し貨物の密輸は多少その數量を減少したとはいへ尙相當根强いものがあり殊に氷砂糖の如きは舊五月節期前後に大連を經由し滿洲側に取引されたものが可成りの數に上つてゐる、更に八月の節期を控へ大連に約二萬箱が待機してゐるとも傳へられ若し此大量のものが密輸されることになれば生產業者は工場閉鎖の止む無きに至るべく、かくては僅かに關稅の保護により內地同業家の進出し來つた意義なく密輸取締りの緩漫さが非難されてゐる

尙各氷砂糖は市價百斤、卸値段廿一圓に對し密輸品小賣値段は百斤十七圓見當である

南朝の柱石

大楠公を偲ぶ

六百年祭の大精神

その誠忠七生の氣慨は國民信念を表徴するもの

家庭

延元元年、大楠公父子湊川に戰死されて以來今年は恰かも六百年である。大楠公の忠義大節柄として日星の如く、其の最後「七生人間滅此賊」の一言、凛然として永遠に生きてゐる。此の一言、日本精神の極致である、大楠公は日本精神の偉大なる權化として崇拜されるのである。大楠公は何ぞ唯七生のみならず其英魂氣魄生々代々、我が國民に傳はり我が國礎を維持するの大動脉となつてゐることは、吉田松陰先生の「七生説」に言ひ盡されてゐる、松陰先生の説に「自分は大楠公と血肉の關係なしといへども、斯理の因緣あるものである（寫眞は湊川神社）自分のみに止まらず、今後も續々として、永久に大楠公の更生者が輩出するであらう」と言つてゐるのは

大楠公に

觀感興起しつつある我が國民の信念を説破してゐるのである、大楠公は死せず、永久に日本人の信念の中に生きてゐる「七生」の一語は不滅の熱血となつて日本人の血管を流れてゐるのである。今や未曾有の非常時に際して、大楠公六百年の記念祭に遭遇し、國民の觀感興起した幾多の美事偉蹟を列擧して以て、大楠公を祭るの辭に換へたい大楠公の忠義大節に觀感興起するは「七生」の一語に出發する

忠義大節

を説くとき、自他ともに大楠公を連想する。そして大楠公に對稱されるのを以て最高の光榮とするのが、國民の信念である。大楠公の戰死、その七生の氣魄、儒教にいふ忠と義との二字を結びつけた「忠義」といふ觀念は、日本人獨特のもので、儒教が日本のものになつたといふのは此の二字の力である。そして大楠公は「忠義」の理想的偉人である。廣瀬淡窓の咸宜園の門人に、勤王狂の儒生がゐて、いつも大楠公を聖人といつてゐたといふことが、淡窓の懷舊樓筆記に見えてゐる。忠義を中心とする

國民道徳

教に於て大楠公を聖人とするは當然のことでなければならぬ。此の一事は百余年前、幕政の世に於て、國民信念の閃光が偶々雲間を漏れたものであつた。大楠公を聖人と稱へた儒生は、築後國柳井郡稻數村の醫者中垣淳庵の子で、養子に行つて太田元吉といひ、後に中垣權之助と改名した。文政二年三月二十二日、咸宜園に入門し、塾生となつた、

病歿を記

懷舊樓筆記、天保十一年四月二十八日の記事に、その病歿を記して「玉室に志深き男なり、常に正成を稱して聖人と謂へり、」とある。入門時の條にも同じやうなことが書いてある。水戸義公が湊川に建てた「嗚呼忠臣楠子の墓」は國民精神の發達に貢獻した一大記念塔である事は言ふ迄もない。義公と偉業は我が國民信念を代表したものといはなければならない

躍る黒潮

伸びゆく日本

＝あすは海軍記念日＝

幾度か新たなる追憶に甦るこの日、皇國の興廢を此の一戰に賭して壯烈極りなき一大海戰を展開、遂に曠古の大勝を搏した記憶すべき記念日は明廿七日をもつて三十週年を迎へる。この日、この時、吾々の國民的感激はあらゆる思念をすぐつて今一度燦たる海國青史の一頁に集中されなければならない、圖は午後三時から三時半に亘る第二次會戰の壯烈を極めた光景！當時我が主力艦隊が反轉し、日進を先頭に春日、朝日、富士、敷島、三笠の諸艦が檣頭高く旭旗を掲げて續航、敵艦隊の退路を遮斷して猛撃を加へつゝあるところ―

主婦の常識

難かしい 帶心の裁ち方

帶心にする三河木綿といふものは他の織物とちがつてへりが大變デコボコにむらになつてゐます、これを裁ちおとすのですが、一丈余もある長いものを眞直ぐに切るのは次のやうにしますと非常に簡單にしかも正確に出來ます

一、帶心地は長いなりに輕く二つ折りにします、この時折山にすぢをつけないやうにすること

2、例へば帶巾が八寸とすると、二つ折になつてゐますからそこから四寸として、一尺おき位に折山のつかぬやうモノサシをあて全部につけます

3、ヘラがついたらば並巾にひろげて、今つけたヘラとヘラにモノサシをあてて通しヘラ又は鉛筆で線をひきそこから切り落してしまひます

4、切り落した方からもう一度八寸としるしをし前のやうに切りおとします

5、最後に心の横も眞直ぐに切るのには、初めのやうに縦二つに折り、切りとるところへ下まで通るやうに端にヘラをつけ、並巾にひろげて、ヘラとヘラに線を引きそこから、切ればよろしいのです

朗らか小父さん

風薫る初夏のシムボル

パナマ帽の新傾向

値段は安くなりました

風薫る新綠の季節店頭には早くも爽かな新裝でパナマ帽が登場しました、今年の傾向としていままでの眞一文字は飽かれ氣味です、パナマ帽は南米産の原料で英國製が一等品南米のパナマを琉球に輸入して編んだ物が二等品となつてゐます

その他マニラ麻で編んだものは輕くて冠り良い點と、お値段がパナマの三分の一位ですから大衆向です、鉋屑で編んだもの、竹の皮や草の纖維などで編みあげたものなど今年の夏の流行はなかなか複雜多樣です

特徴として益々ブリムが狹くクラウンも低くなりました、ブリムはお椀型のものが流行お値段はパナマが去年より一割安で假物十圓位です、麥桿帽子は一圓から二圓程度となつてゐます

今日の献立

朝 ▲味噌汁＝馬鈴薯は、皮をむいて、賽目なり小口切なり、好みにお切りください

晝 ▲甘藷と人蔘のかき揚げ＝甘藷は三分角くらゐのあられに切り、人蔘も同じやうに切り、衣と混ぜ合せ、一匙づつ胡麻油に落して、からりと揚げ、御醤油で頂きます

晩 ▲ひらめの山椒味噌燒＝ひらめを切身にして鹽をごくばらりと振り、二十分ほどしてからさつと水をくぐらせて、水氣を切り、串を打つて燒き上げ、器に盛つて山椒味噌をかけます ▲サヤ豌豆煮浸し＝これはサヤ豌豆を清汁より少し濃目の煮汁で、汁がでたくにある程度に煮上げます

學藝

日本歴史の側面觀(一)

光岡慈昭

(一)建武中興を思ふ

本年は楠公湊川に逝いて六百年、各地に此の不出世の忠臣を記念して日本精神の發揚の企圖を見ることは實に慶賀の極みでなければならぬ、余は市井一介の沙門である、主として日本の精神文化史に心をひそめその研鑽を企圖してゐるものであるが主として一の佛教文化が如何に日本文化の上に織り込まれたる佛教と儒教の思想が日本化して所謂時に儒教が和魂漢方としての經學の跡を回顧してもみる、又飛鳥平安朝の所謂傳來の佛教が鎌倉に一轉し日本國民性に融化して蘭菊研とを競ふ日本佛教の發達を追想してみることも強ち無駄のことでもあるまいと考へ筆を呵してみた、いはゞ此の稿は隨筆であり亦隨感である

佛教と神道、神道と儒教儒教と佛教その交流をみれば日本文化は實に熔礦爐である、支那に於て孔孟の經學の思想とその實踐は實に地を拂ひ、ただ長江京津の一隅に經學の思想として遺風を止むるに終る

佛教の教學修行は支那に於て一部の居士佛教若くは僅に獨善消極の跡を輙うじて止めてゐるに過ぎぬ、獨り日本は特殊の國民特異性たる寛容性けである今日の神道を完成して來たので今日の神道は神道自体の發達とのみ見る事は決して具眼者のとるべきところではない僧行基は本地垂跡を立て所謂權現佛教の一區劃となし天台の最澄は兩部神道を提說し、眞言の弘法は、一實神道を力說して現下の神道として所謂体系としての神道の教說を祖述して來たのである、又漢學の渡來は正邪曲直の明確たる觀念を涵養しつゝ五常の思想を發達せしめ、日本思想を泰山の安きに置く、人若し今日の儒教を以て支那の教となさば愚是れ極まれるとなすべく亦た佛教をして印度支那の教となさば以てその短見笑ふべきである、日本佛教と美術工藝土木建築はその一つか教員の思想と佛教、武士と佛教、幾多の觀點からながめてゆけばそこに綿々として汲めども盡きぬ日本歴史の泉がある

防空講座
都市防空施設の問題
—第十一講—

七、水道瓦斯管通信線動力線

五、淨水池の「ポンプ」は成る可く堅固なる屋蓋を以て掩ひ且つ上空に對し發見せられざる處置を講ずること

六、送水路は努めて之を暗渠又は隧道とし更に豫備送水路を有すること必要なり然れども諸種の關係上之を許さざる場合は特に通信連絡設備を完備し破壞せられたる場合迅速に之を加修し得る準備を爲し置くこと

七、貯水池の堰堤は爆彈に對し安全なる如く「コンクリート」造とし巳むを得ざれば核心を「コンクリート」造とし且つ取水塔は「コンクリート」を以て堅固に構築し其屋蓋を上空に對し尖りたる鐘形と爲すを可とする

八、特に重要なる淨水所及貯水池の附近には高射砲及阻塞氣球陣地を有する如く顧慮するを必要とする

「研究並對策」

本項は消極防空施設中重要なる問題であつて各國共經費を惜まず鋭意努力しつゝあるところである而して吾滿洲に於ては幸にも之等の設備は目下計畫實施中の都市各地に於て計畫に伴ひ新に建築されるものが多いから實施容易なる便利がある夫れ故に根本的の調査研究を遂げ理想的に構築し度いものである

八、防空通信線の施設

一、情警報傳達の要領

要地防衛の際に於ける情警報の傳達は左記要領に依り實施せらるるを普通とする

一情警報は左記系統に依り實施せらるるものである

「防空監視隊」「監視隊本部」「防衛司令部」

備考

關東廳電々會社電話線(優先使用)
警察電話線
關東廳電電會社電話線(專用)
滿鐵電話線

2 警報の傳達は情況特に通信網に依り變化あるべきも其一例を示せば左の如し

防衛司令部
- 防衛部隊
- 市縣警察部　警察署　派出所 駐在所(通絡者)
- 遞信局　郵便局(通絡者)
- 電々會社
- 滿鐵　驛(通絡者)
- 電燈電力會社　變電所(電燈點滅)
- 無線電話放送局(ラヂオ)

市町村防護關係者
一般人民

備考　專用電話線(各機關をして架設せしむ)
各機關業務用電信電話線(優先使用)
「サイレン」汽笛、等を使用す

二、施設要領

情警報傳達は主として關東廳、電々會社、滿鐵及警察部電話回線等を利用するを以て此等電話回線の新設改良に際しては情警報の傳達を容易ならしむる如く左記事項を考慮するを要す

(一)防衛司令部と各機關との警報傳達用專用電話線

平時所要材料を準備し架設計畫を立案す

(二)關東廳及電々會社市街電話回線

主要線路は防空通信に專用の場合を顧慮し回線數を增加す

(三)警察電話線

各駐在所、派出所に至るまで電話を施設し且各警察署間連絡用電話回線數を增加す

九、結言

以上都市防空施設に付き各項目に亘り施設要領並に研究事項を羅列したが要するに官民一致協力と各關係當局の適切なる計畫指導の下に逐次完成さるべき一大事業である而も各地事情を異にし他に爲すべき事業も山積されある現況に於て速に本問題を解決する爲には先決問題として冒頭に述べたる如く建築物防空施設實施の爲の調査機關を各地毎に設置し權威ある統制の下に列記せる各項目に付き重輕緩急を顧慮し速に調査研究を遂げ關係當局の努力に依り速に其實顯を期すべきである時恰も初多の候に入り各種建築事業も一段落を告げたる折柄調査研究の爲に洵に好適の時期を與へられたるものと信ずる此天與の好機に乘じ速に調査研究を了り對策を練り來春再び迎ふる建築期に實顯し得る如く努むべきことを切言して擱筆す

映畫評

戀の一夜　夜間飛行　二人靜

戀の一夜(コロムビア)

グレース・ムーアの美しい聲に堪能出來る映畫である、「今宵こそは」に輪をかけたやうな、あれよりもつと甘くて軟らかい、肩の凝らない嬉しい愉しいグランド、オペレットである、ストオリイの平凡さが氣になるが構成はまづくない、音樂と音樂をつなぐコメディ、リリーフも決して惡いものでなく、終りの「カルメン」や「お蝶夫人」の絢爛たる舞臺面も素晴しい、喧嘩分れをした戀人がプロムプタア、ボックスから彼女をリードする邊りに劇的なやまを見せてくれる、かういふのを觀ると率直に映畫は愉しいと言ひたくなるインテリむきの一篇(N生)

夜間飛行(メトロ)

南米大陸横斷夜間飛行の決行される最初の一夜二十四時間中に起つた事件に取材したものである、飛行機を動かすために動員せられてゐる全ての部門の活動が巧妙にアレンヂされてあるし「一人の勇氣が大事をなしとげる」その痛快さが、悲壯極る犧牲の痛々しさが眞向から觀者の胸をつくのである、これは巨匠クラーレンス、ブラウンの努力の勝利であり、併せてジョン、バリモアの熟技の奏功であると見られる(江來)

二人靜(松竹)

最初のシーンにおいて何の變化もない波のみを寫し出して居るのは觀客に何等かの暗示を與へんとして居るのか?船の中の、上海歸りの女の物語として本篇を描いて居るのも一寸面白い然し中頃に至つて少し芝居じみて居る所が有る樣に考へられるが、あの場合の氣分を出す方法として止むを得ないのかも知れない、池田義信氏はすみ子を自由に踊らせる事に成功してゐる別に變つた手法も感じられないが一片の彼獨特の文藝的悲劇映畫とのみ見る事は可哀相だ

濱村のカメラも特別な物は感じられないが明るく出て居る事は無難である、すみ子の演技益々圓熟しトーキー女優としての才分を見出す

此の一篇に特に希望する事は今少し監督はトーキーで有ることに、言ひ換へればもつと音に敏感で有りたい、あまりに脚色に引きずられて音を無視して居るのは感心出來ない(福山正男=投稿=)

文學とヂャーナリズム
—益々商品化される文學作品の動向—

ジャーナリズムは最近いよいよ一般の關心の的になつて來た、特に政治、思想の方面において著しい、ジャーナリズムとは何かといふ事に就ては、之迄科學的に明かにされた文獻もあり、斷片的にも多くの言說が常になされてゐる、然しジャーナリズム的現象が極めて複雜なために、分つてゐるつもりでもいつのまにか分らなくなつてしまふのが普通のやうである

ジャーナリズムは先づ第一に、資本家によつて經營されてゐるものである、第二にイデオロギー=文化の商品即ち一切の形態における出版物の生產者である、第三に、この商品の販賣者として、直接間接にその販賣組織を持つてゐる、第四に、その出版物の內容をなしてゐるものの生產者即ち執筆者たちに對しては問屋として立ち現れてゐる以上の事からジャーナリズムは、顧客である讀者大衆と、手工業者的存在である執筆者と商品生產の仕事に携つてゐるジャーナリストと密接な關係を取り結んでゐる、最後に決定的に重要な事は、程度の差こそあれジャーナリズムが社會支配の政策の、重要な發表機關としてのイデオロギー的支配の手段としての役割を果さざるを得ない性質のものであるといふことである、それの顯著な例は新聞である、更に日本ではブルジョア的な意味での自由をすら約束する法律が未だかつて無かつた、といふ事が、ジャーナリズムの重要な特色をなしてゐるのである、或人は、大多數のジャーナリズムが急速に支配機構の機關誌と化して來たことをすでに指摘してゐる、それは社會的、階級的矛盾の激化と、それに伴ふ政治的軋轢がはげしくなつてきたことの一表現に他ならないのであるが、ジャーナリズムと文學との關係もジャーナリズムのこのやうな性質によつて規定されてゐるのである

新京ホトトギス句會報

家稀れに人稀れに行く柳かな　寸々
一面に落ちゐる木の實草萠ゆる　開
一筋の炊煙見ゆる新樹かな　同
手攔なき假橋高きつばくらめ　牙城
子供等の堰いて遊べり春の水　同
ぶらんこの綱切れしまし新樹中　佐知緒
由緒ある塚をめぐりて新樹かな　如水
陽炎に鶺鴒揃ひ上りけり　三堂
自動車の灯の走りたる新樹かな　同
公園の堅きベンチや水温む　同

兼題、セル

次回例會、五月卅一日、三堂居に於いて

京大教授で、吾がホトトギス俳壇の大家、松尾いはほ先生が、本月の廿八九日頃御來京の通知がありましたので歡迎宴を開きたいと考へてゐます、追つて時日を御知らせいたしますが、多數の御來會を願つておきます

自叙傳の研究(三)

ミカエル、サドレア作
曾田博譯

人の批評は兎も角としてボウエイ、の自叙傳は非常に有名な本であることは明かである、而して必ずしも著者自身が信じてゐるやうな意味に於て非凡な人ではないにしても世間では有名な人となつてゐる、事實ボウエイは天才的素質を多分に有してゐる、天才といふ言葉は濫用され過ぎて信用を失つてゐるにしても、天才といふ言葉を彼に用ひるのは止むを得ないことである

彼の作品を矯正する無能(或は不本意)や自已苛責は天才の特徴であり、天才の特徴として許さるべきものであらう自叙傳に現れた兩者の態度を見るにボウエイは自己禮拜であり、歪められた暴露主義であり、裝ふた卑下である、一方ウエルズは威勢の好い、ねばりづよい、キビキビした諧謔である、試みに此の二つの自叙傳の口繪を比較すると兩者の間に確然たる相違がある、ボウエイは注意したポーズの親しみのない暴い感じのする血紅色の肖像を選び、ウエルズは極めて普通の寫眞で親しみのある微笑さへおぼえるものを好んでゐる

ウエルズの自叙傳はその第一頁に於て人生の物語として始まつてゐる、然し漸次その目的から外れて會話が多くなり、惡戲風になり時々氣むづかしいものになつてゐる、而して即興的迅速さで言葉を用ひ、長い間の著作からのみ得れる正確さを持つてゐる、全部を通じてユーモアに富んだ自已輕蔑の形を取つてゐる、ウエルズは自分の失敗を物語り、時々議論に負けては困り或は馬鹿げた自分自身をさらけ出してゐる

最後にボウエイとウエルズとの二自叙傳は互に反對の關係にあることを注意せねばならぬ、ボウエイは世間に適合しない人間ではないがウエルズは常に自分の失敗を語ることで世界的に有名である、それは彼以外に成功しやうと思つて失敗し、上に登らうとして失敗する人がない故である、ウエルズは常に成功せんとして熱心であり方向を變へるより先に失敗するのである

一方ボウエイは何時も自分の世界を背負つて步いてゐる彼が居る處には望んだ決勝點がある、然し彼は何故失敗するか?それは彼が最も望んでゐる讀者の缺如の爲である、彼の望んでゐる世界はあるが如何にして世間をおびき寄せるかを知らない、然しウエルズにとつては世間といふものは舊聞に屬し、精神の自由、仕事の平和、混亂からの解放を叫んでゐる、然し彼の聲は自由平和を齎することなく、混亂を增すのみである彼の作品は常に激しい感嘆若くは激しい敵意を挑發するのである

以上二つの傾向を異にした自叙傳の作者ボウエイとウエルズを自叙傳を通じてみたものである(終)

乾草で病氣を治す
乾草浴獨逸で大流行

獨逸では最近乾草浴といふのが流行してゐるが、これは人間の入れる位の袋の中に一杯乾草をつめてそれにトップリ入り汗をかくまで居ると汗と共に病源が出てしまふので大抵の病人は治つてしまふといふ、嘘のやうな本當の話

一酸化炭素の猛毒
量を知らせる警報器

一酸化炭素の猛毒は最近やうやく一般に知れわたつたが空氣中に僅か〇、〇二パーセント含まれてゐてもその中に數時間居ると中毒を起すものであるが、最近これを自動的に知らせる警報器が製作され頗る好評

友を想ふうた

くに、きのした

彼の頃に君が愛せる此の詩集を
我讀みてありとつくにゝ來て—

久し振りに窓邊に依りて眺めやる
我が固やかなる指の荒れかなも

彼の頃は睦み會ひけるあの友と
別れにければ便り來ずなり

我に反きて去りし友の事など
他人の口より聞けばかなしも—

學藝消息

作文で年極讀者募集

滿洲の文藝誌として先月第十二輯を迎へた『作文』の實力ある同人を汎く加盟せしめんとする一傾向は報じた如くであるが、同時に年極め讀者を募集し、各書店への便なき奥地人のための便法を講ずる事となつた同誌は隔月偶數月刊送料共一圓也　發行所は大連市薩摩町關東館內青木實君方である

胃腸 榮養
若素わかもと
生命の機關(エンヂン)を運轉する力
胃酸過多
食慾不振
療病の新しき道
人間の生理機能は、消化、呼吸、血液循環、運動思考、感覺といふ風に岐れ、それ〴〵高度の發達を遂げてゐるからそれらの機能がおの〳〵別箇の力によつて營まれてゐるかの如くに觀える、從つて病氣の治療においても、障碍せられた機能のみの恢復を目的として藥を與へ、胃腸がわるければ胃腸の藥呼吸器が惡ければ呼吸器の藥を與へるを以て足れりとするしかし、すべての機械がその構造により行ふ仕事は千差萬別であつても、これを運轉する動力はたゞ一つであると同樣に、人間のすべての生理機能もその根本を貫く一つの共同なる力ー生命力によつて營まれてゐることは明白である、もし、この根本の、すべての生理機能に共同する力を增强することが出來たならば、その結果はすべての機能に及んで、消化も、呼吸も血行も、運動も、思考も、感覺も、障碍を恢復することが出來る筈である、この見地から新しい療病の道が開かれた錠劑『わかもと』の効果の根本はこゝにある、この藥の公に許されたる効能は
一、消化器系統では、急性慢性胃腸カタル、胃酸過多症、胃擴張、胃アトニー、胃下垂、胃弱、胃潰瘍、食慾不振、便秘腸胃内異常醱酵、腸自家中毒、加答兒性黄疸等を網羅し
一、呼吸器系統では、肺結核、肋膜炎、盗汗
一、新陳代謝系統では、脚氣、腎臟炎、糖尿病、貧血、浮腫、
一、婦人疾患では、產褥、姙娠中の衰弱、惡阻乳汁不足
一、腦神精系統では、神經衰弱、不眠、ヒステリー
一、乳兒疾患では、消化不良、綠便、粘便、鼓腸、吐乳
病氣を癒す藥と健康を保つ藥
藥には病氣になれてから服むべき藥と、病氣にならぬ前から服んで一層効果のある藥とある、多くの藥は病氣になつてから服むべき藥で、頭痛の藥、下熱の藥便通藥等みなそれである、もし頭痛のせぬ時に頭痛の藥をのみ、便通のある時に便通をつける藥をのむならば却つて害のあることは當然である、これは其等の藥が、化學的の對症藥で、機械的一定の症侯に對する反對の作用をするからである、かゝる藥の觀念から云ふと病氣にならぬ前から服んでよいといふ藥はないかの如くであるしかるに『錠劑わかもと』は、勿論病氣になつてから服めば、平生から治癒を促進するが、病氣にならぬ前、しかも服用すれば、病氣にかゝる危險を防ぎ、病氣でないのに服んで害がないといふ處れがない
化學的對症藥のやうに性狀にもとづくものではない、藥としての性狀にもとづくものではない、ホルモン、ビタミン、これは若素(わかもと)の諸種の榮養素ビタミン、ヘーフェ菌劑の特色である、若素(わかもと)の純正ヘーフェ菌劑である、胃腸の醱酵素等を綜合した純正は病氣は無力である、若素(わかもと)は先づ健康の前には病氣は無力である
充實せる健康を充實される藥劑である、睡眠便通良好となり、機能整ひ、新陳代謝活潑となり、しかも價格は低廉日常服用しても病氣に罹る患率が減少する、しかも價格は低廉
ぬ少額である
腦神經の過勞防止
文化生活の繁劇を加へると共に、腦神經を過勞せしめ、ために精神作業、執務能率の低下を招き、ひいて全身の健康を害ひ、結核其他の衰弱病に陷るものが年々增加の傾向にあるは、國家のため深憂に耐えないところである
しかるに、たゞ腦神經の過勞に對し今日行はるゝ手當をみるに、腦神經直接の榮養劑、又は鎭靜劑を用ひるを以て旨とし、或は頭痛、不眠等の症狀を麻醉的藥劑による一時的抑制により消散せしむるを以て滿足するの傾のあるのは、まことに遺憾であるがそれより其等の療法を全然不必要とするのではないが
それ以外に全身的療法の廣汎なる效果あるを知らねばならぬ
榮養素たるレチシン、其他燐酸化合物に富んで若素「わかもと」は腦神經の衰弱を恢復しゐるけれども、これが腦神經の衰弱を恢復し不眠を消退せしむる等の効果は、恐らくはその理由より來るのではなくて、更に一層豐富なる榮養素、ビタミン、酵素等の綜合と、胃腸はじめ組織細胞に賦活する作用との協力によつて全身狀態の改まり來つたのに由ること多大であらうと解釋される
若素(わかもと)に代用藥なし
產婦 姙婦 乳兒
藥價低廉
一圓六十錢
株式會社 榮養と育兒の會

空の護り堅し けふの防護演習
全新京の團員三千名集合 午後二時から開始

新京聯合防護團の初の綜合訓練演習はけふ二十六日午後二時から西公園運動場で擧行される、演習指揮官には高木中佐、山口、陶村兩少佐、菅波大尉之に當り附屬地並城內の各防護團全員約三千名參加し午後二時武田聯合防護團長の訓示に始まり、演習に入る、その想定によると

△情況第一　新京商業學校及附近一帶の地は敵機の投下せる爆彈に依り各所に火災を惹起し且つ毒瓦斯の襲來を受く、避難者群は交通整理班員に誘導せられ豫め準備せられたる西公園一時避難所に向ひ急行中なり（敵機空襲の情況を示し警報班警報を傳達す）

△情況第二　三機編隊の敵の轟爆機は午後二時三十分吉林上空に現はれ新京方面に向ふ高度四、〇〇〇（瓦斯彈落下の情況を現示し各班の動作を演ず）

△情況第三　避難者群は交通整理班及避難所管理班の適切なる指導に依り秩序正しく收容整理を完了す、時に敵の一機避難所の上空を飛來して瓦斯彈を投下す

△情況第四　新京を空襲せし敵の爆擊機群は我地上機防空機關の威力及義勇防空飛行隊の果敢なる攻擊に遭ひ多大の損害を蒙り大部は擊墜せられ殘余は辛ふじて逸走す

我損害は軍隊、憲兵、警察官憲の適切なる指導に依る防護團員の獻身的活動に依り極度に輕減せられ其程度輕微にして市民の死傷十數名に過ぎず、建設物は多少の被害を蒙りしも工作班員等の活動に依り急速に應急復舊を見る見込なり

撤毒地帶の消毒は既に完了し危險地域なる市內の秩序は急速に恢復しつつあり

右情報を警報班に傳達して演習を終るはずであるが結團後最初の綜合訓練演習ではあり武田團長以下團員らいづれも非常な意氣込みで參加することになつてゐる

赤十字新京支部 春季巡回施療

日本赤十字社新京支部では本年度春期地方巡回施療を去る五月十八日より沿線各地において行ひつゝあるが、二十六日以降の日程は左の通りである

（五月）
廿六日、公主嶺滿洲街
廿七日、同上
廿八日、郭家店
廿九日、四平街附屬地
卅日、四平街滿洲街
卅一日、雙廟子
（六月）
一日、梨樹縣

新京商業の楠公記念祭行事

新京商業學校にては二十五日楠公六百年記念日に當り大忠臣楠公を偲ぶ意味にて午前八時より十二時まで左記の順序にて行事を擧行したが生徒は皆非常時氣分にあふれ意義ある記念日を終つた

講演△湊川の決戰—二年町田安隆△大楠公の人格—二年中西弘△七生報國の精神—四年佐藤衛△楠木正成とその信念—四年嘉村康照△楠公—五年白石半則△楠公を偲び將來の覺悟を述ぶ—五年仲俣秋夫△大楠公を憶ふ—五年鎌田義雄△記念講演「櫻井の別れ」五年、一年生有志

なほ講演會は特に武田地方事務所長「大楠公を仰ぐ」の題下に講演し其の獅子吼は生徒に一大感銘を與へた總つて午後一時より三時まで山內少佐の防空に關する有意義なる講演會あり最後に防空に關する映畫があつた共に防空の如何に大切なるかを深く感銘せしめた

張總理以下に御陪食

皇帝陛下には廿五日張國務總理以下各部大臣及長岡總務廳長に對し御陪食仰付けられ一同十一時半宮中に伺候した

關東軍劍術大會 第一日成績

夕刊所報關東軍第一回劍術大會第一日は午後一時引續き開始された、各部隊とも午前中に優つての奮戰で板垣委員長を初め幕僚を熱狂せしめ午後四時三十分第一日を終了した各部隊對抗成績は左の如くである

▲騎兵班　第一位　小島部隊十三點　同二位　阿久津部隊十二點
▲航空班　第一位　寺本部隊十一點　同二位　佐藤部隊十一點
▲砲兵班　第一位　入木部隊十六點　同二位　佐藤部隊十三點
▲工兵班　第一位　加藤部隊十五點　同二位　後藤部隊十一點
▲憲兵班　第一位　哈爾賓隊二十一點　同二位　新京隊十九點
▲步兵班　一組第一位　田村部隊二十二點
▲同二組　第一位　古本部隊二十二點
▲同三組　第一位　松井部隊二十二點
▲同四組　第一位　兒島部隊五十六點

海軍記念展

けふから三日間記念公會堂で開催される展覽會の內部二景

醜惡な慾望の內紛を逆用した收賄沙汰
燕春茶園事件の全貌發表さる

新京城內東三馬路劇場燕春茶園を繞る收賄事件は五月六日以來新京新京市街憲兵分隊にて連日峻烈なる取調べをつゞけてゐたが大体取調べの一段落を見たので二十五日午後二時より新京憲兵隊本部特高課長より左の如く內容を發表した

＝新京憲兵隊本部特高課長發表＝新京特別市東三馬路演藝場燕春茶園は民國元年資本金十二萬圓株式組織にて創立爾來城內の資産家興業公司代表傅信古（四七）の

所有 にかゝり從來張月樓なるものに賃貸してゐたが傅は最近同劇場が多額の收入あるので昭和九年九月張との契約期限滿期を機會に契約を解除し東三馬路劉輔廷と新規契約を結び劉は手付金として六百圓を傅信古に手交し契約書の作製を迫つたが言を左右して日時を延引し劉との約束あるにもかゝわらず、密かに自己の先妻の兄李榮棠に經營をゆだねてしまつたそれとも知らず劉は數回に亘つて嚴しく交面で

契約 の催促をするので傅は始めて李榮棠に經營をまかせたことを打明けこうなれば止むを得ないから李榮棠と李の主人崔俊山の三人で共同經營にしたらよいだらうと言ひ出したので劉は立腹して見たものゝ六百圓の手付金を出してゐるので涙をのんで三人共同經營することに契約書を締結、九月下旬劉はハルビンへ俳優の傭ひ入れ交渉に行つた留守中に李榮棠が死亡した、機會を狙つてゐた張月樓は時こそ來れりと李の遺子李恩春と共同契約を結んだ、ところが傅信古は

それに不承諾を唱へたので張は首都警察廳保安科長王肇澄（三六）長通路警察署長范毓學（三九）をうまく抱き込み王、范兩名は

職權 を利用して傅信古を脅迫し王は一千五百圓范は一千五十圓を傅より收賄した、ところが劉はこれがため日ならずして數千圓の損害を蒙り遂に本年一月初旬、傅信古を長通路署に告訴した、長通路署では箭野司法主任が直ちに傅を不拘束のまゝ取調べを開始三月中旬取調べ一段落つきたる頃市內祝町二丁目和田ビル七號居住橘光三（三二）が新京憲兵隊本部隊長の命なりと稱し箭野主任に面會を求め傅の身柄を引受け傅とは豫て知合の間柄にある橘は謝禮金として金三千圓を收賄した、五月六日憲兵隊新京新市街分隊でこの事件を探知し王、范、橘、張、傅の五名を檢擧爾來連日峻烈なる取調べを行つた結果事件の

全貌 が判明するに至り近く滿人は滿洲國側に橘は新京總領事館に送局される筈である、なほこの事件に日系官吏が關連せる如く傳へられてゐたがそれは證人として取調べたもので日系官吏には何等累連者はない

國都の警察人を語る

署長の女房役は 警務係の仕事
＝溫厚篤實柴田主任＝

（上）

△警務係…普通一般の會社銀行の庶務課のやうな仕事をしてゐるのが警務係である、即ち警察職員の人事に關する事項、署長印及び署印の管守に關する事項警察區劃に關する事項、警衛警備に關する事項、文書の收受發送及び編纂保管に關する事項、統計に關する事項、遺失物、漂流物及埋藏物に關する事項、戶籍に關する事項、恩給警察弔慰其他諸給與に關する事項、豫算決算及會計に關する事項、廳舍及び宿舍に關する事項、宿直に關する事項、他の係に屬せざる事項等他の係に較べて比較的一般民衆との直接關係は一番薄いところであるが一例として云へば路上で時計を拾つたとかお金を拾つた時警察のどこへ屆けたらよいかと迷ふ向があるやうであるがそんな時は必ず會計に屆け出ること、それと今一つは毎月市中の商店などから集めてゐる物價の統計材料であるがこれは最も正鵠を要するにもかゝわらず兎角自己の商賣上から事實の報告を恐れる點があるやうに思はれるがそれでは折角の統計が何の役にもたゝないことになるのであるから今一步大局的に考へて警察の仕事にお互自分達の仕事の一步であるといふ考で期日を嚴守して事實の報告をするやう訓練が必要だ、對民衆の事柄について云へば細々したことは多々あるであらうがそれは省略して前述のやうに警察署の中樞機關として最も重要なる役割をつとめてゐる警務係主任は對外的には副署長としての貫祿を示し得る人物であり內にあつては署長の女房役として署員の家族のことに至るまで立ち入り無私公平よく署員を統御する手腕と力量がなくてはならぬ、現警務主任柴田氏及び三藤二警部はさすが廣石署長の眼鏡にかなつただけあつて溫厚篤實頭腦明晢理想的名主任といふも過言でない、生國は福岡縣、大正七年青雲の志を抱いて大陸に雄飛し關東都督府警察官を拜命爾來トン〳〵拍子に累進して本年二月の大異動で安東署から拔擢されて現在の椅子をかち得た好運兒である、年齒漸く三十八歲近き將來に於て署長の金的を射る一人であることは間違ひない（寫眞は柴田警務主任）

"氏子と神官の圓滿な協調を"
—植村神職の着京談—

新京神社神職になつた植村近平氏は二十五日午前八時五十分到着列車で家族六名を同伴着任したが氏は語る

私如き淺い經驗しかないものが先輩井上前神官の後に來て圓滿に宮仕へ出來るかと心配してゐます、圓滿に仕事を果すか否かは一つに氏子總代諸賢と神官との完全な協調にあるからその點貴紙を通して氏子諸子によろしくお傳へ下さい、現在の新京神社を滿洲神宮（名稱はいづれにせよ）となすことは理想論であつて急速に實現出來る性質のものではない、中央部を始め氏子總代、管理者、その他監督の立場にある官廳の御意向をお尋ねした上現地に則した方針で進みたい、要は至心安妙だ、治外法權の行はれてゐる現在附屬地の神社としてはこのまゝでよからうが治外法權が撤廢されてこゝに大新京都市が實現された曉には日滿兩國民のともに〳〵崇敬の的となり得る神社にしたい（寫眞は植村神職）

埃風に乘つて痘禍荒れ狂ふ
マスコット女給君も罹病
全市宛ら戰慄の都

新京附屬地の天然痘は衞生當局の必死の豫防を尻目にますます蔓延の兆あるが二十四日には滿鐵醫院の滿人ボーイ一名二十五日には三笠町二ノ七バーマスコット女給月田トシ子（二四）が眞性天然痘と判明本人を隔離し大消毒を施したが附屬地の天然痘患者は今日まで全部で十四名に達した、なほ未だ種痘をうけない方は此際至急接種するやう當局は望んでゐる

明日の新京醫院

新京醫院では二十七日海軍記念日當日は午前九時まで受付を締切る

國都ホテルの電話係か、或は女中さんかわからないがよく投宿者の着發を知らしてくれる女性がある、▲氣分も明朗らしいし、言語も頗る明晰だ、ヘイそのお次は何々氏御職業は何々、何日何時來京御投宿、次は御出發の部ですとなか〳〵要領がいゝ、▲むづかしい姓名は映畫名とか俳優名でスラ〳〵つと解說する機轉がある、▲一つの貞の字、谷幹一の幹の字といふぐわいは映畫ファンであることが覗はれる▲ソウトウなもんですなと云つたらそれがわかつて頂ける方もソウトウなもんですなとしつぺいがへしの鮮かさ▲お顏をちよつと見たくなつた

第三次春競馬 第一日成績

▲第一競馬（七頭）一、八〇〇米（一）彩（騎手有吉）二分三七秒（二）一風（三）早加浪（單）八圓（復）五圓五〇錢、八圓（搖彩票）九圓九〇錢、二圓四〇錢

▲第二競馬（四頭）二、〇〇〇米（一）惠六（騎手商屋）三分八秒二（二）天峰（三）春勇（單）六圓九〇錢（搖彩票）一二圓五〇錢

▲第三競馬（七頭）一、八〇〇米（一）海拉特（騎手山本）二分三〇秒（二）泰洋（三）城山（單）一三圓（復）二五圓、一一圓八〇錢（搖彩票）三一圓七〇錢、七圓九〇錢、

▲第四競馬（五頭）一、八〇〇米（一）電駒（騎手寺田）二分四〇秒二（二）京花（三）鳴門（單）六圓四〇錢（復）五圓六〇錢、一二圓七〇錢、（搖彩票）六一圓四〇錢、一五圓三〇錢、

▲第五競馬（六頭）一、八〇〇米（一）滿花（騎手今井）二分三三秒四（二）壽（三）八千代（單）一一圓七〇錢（復）七圓二〇錢、六圓二〇錢（搖彩票）八七圓、二一圓七〇錢

▲第六競馬（五頭）二、〇〇〇米（一）劍風（騎手城內）二分四七秒一（二）第二鹿島（三）拔天（單）九圓六〇錢（復）五圓七〇錢、五圓九〇錢（搖彩票）一二〇圓三〇錢、

▲第七競馬（八頭）二、〇〇〇米（一）光駒（騎手內田）二分四八秒（二）川內（三）武德（單）一三圓七〇錢（復）七圓二〇錢、八圓、一三圓九〇錢（搖彩票）三二圓五〇錢九圓一〇錢、四六圓、外等二三圓

▲第八競馬（九頭）二、〇〇〇米（一）飛龍（騎手山本）二分五二秒一五（二）春駒（三）西風（單）一七圓三〇錢（復）八圓七〇錢、一四圓七〇錢一七圓六〇錢（搖彩票）四一六圓六〇錢、一一九圓、五九圓五〇錢、等外二四圓八〇錢

▲第九競馬（六頭）二、二〇〇米（一）丹生（騎手城內）二分五九（二）滿洲嵐（三）金亮（單）六圓八〇錢（復）六圓、八圓五〇錢（搖彩票）二六六圓二〇錢、六六圓五〇錢、

▲第一〇競馬（一〇頭）一、八〇〇米（一）立花（騎手今井）二分三一秒一（二）春（三）一陽（單）一一圓八〇錢（復）八圓二〇錢、三二圓九〇錢、四九圓七〇錢（搖彩票）五〇六圓二〇錢、一四四圓六〇錢、七二圓三〇錢、二五圓八〇錢

▲第一一競馬（一二頭）二、〇〇〇米（一）寶洋（騎手清水）二分五秒一（二）寶榮（三）天成（單）一〇圓七〇錢（復）八圓三〇錢、一一圓二〇錢、一四圓九〇錢（搖彩票）五〇六圓二〇錢、一四四圓六〇錢、七二圓三〇錢、二〇圓

▲第一二競馬（六頭）二、二〇〇米（一）公主嶺五月（騎手谷尾）三分四秒四（二）金勇（三）秋勇（單）一四圓六〇錢（復）六圓一〇錢五圓六〇錢（搖彩票）二二二圓七〇錢、五五圓六〇錢

▲第一三競馬（六頭）一、八〇〇米（一）大風（騎手田中）二分三一秒一（二）玉峰（三）羽衣（單）八圓八〇錢（復）六圓、七圓四〇錢（搖彩票）一八四圓三〇錢、四六圓、

▲第一四競馬（一一頭）一、八〇〇米（一）新勝（騎手上原口）二分二九秒四（二）新豐（三）左駒（單）七圓（復）五圓六〇錢、二一圓五〇錢、九圓八〇錢（搖彩票）二五九圓八〇錢、七四圓二〇錢、三七圓一〇錢、等外一一圓六〇錢

女人婆羅門（百五十）

（舞臺上演　映畫化）

長田秀雄　西正世志畫

花を奪ふもの（八）

「今夜は、胸騷ぎがして、眠られぬ。お澤、戸締りは大丈夫かの?」

清水仙之助は、書見に耽つてゐると、奇妙に落着かず、本を閉ぢたり開いたり、一行も目に入らず困つて居た。

「幾時頃であらうな」

縫物をして居たお澤は、

「もう彼是十一時頃で御座りませう」

「四邊が靜寂つて居るから、もうさうならうか——おや」

耳を欹てゝ、大きな物音に目を鋭く瞬つた。

「何でございます」

「只今、茶寮の方に、ガタと云ふ物音がしたが、其方には聞えなかつたか」

「はい、些とも」

「はて、あんな大きな音がしたのに」

「神經ではございませぬか」

「はつははは——左樣かも知れぬ。どれ、休息致さうか」

「お寢間は取つてございます」

仙之助は、見臺を傍へに遣つて起ち上ると、寢間へ行きかけたが、急に目を異樣に輝かした。

「お澤——眼の物を持てッ」

「はい」

お澤は襖を開けて簞笥の中から行廣の一刀を抱へて來た。

それを受取つて、ひらりと庭口に、足袋跣足の儘飛び出した仙之助、まつしぐらに茶寮の方に駈け出した。

「あつ——梅子殿ッ—」

と、呆氣に取られながら、茶寮の中に飛込んだ。

「うーむ、察する所先刻の物音こそ曲者の闖入した者だつたのだ」

藻脫けの殼になつた、梅子の居ない寢間は、踏み亂され、四邊の調度品も亂雜になつてゐた。

「若し、どうかなされましたか」

心配してお澤が出て來て訊ねた

「梅子樣は?」

「曲者の爲に誘拐されてしまつたのだ」

「へえつ!」

「驚くな、一足遅かつたのぢや——あゝ、信也殿に、面目が無いのう」

「はい、面目なう存じまする」

「あれ程、固く留守を守るやう頼つて置いた手前、何と言譯をしていゝか、武人の面目は失はれてしまつた」

「早速、警察致したら宜敷うございます」

「いや——追跡して行つたとて、追付く筈はない。明朝、警察へ屆け出るとしやう」

「はい」

「信也殿には、此旨打電致すやうに」

さう云つて、仙之助は行廣の一刀を携へて、ツカ〳〵と主家へ戻つて行つた。

寢間には入らず、書院に端座した儘、凝と瞑目したきりだつた。

（誰だらう?）」

と考へると、曲者の姿が渾沌した頭腦にチラリと浮んだ。

（はゝあ、いつぞやの女か）

と、思はず向ふを視ると、猿藤門お藤の姿は消えて、猿塚四郎の姿が續いて現はれた。

それに續いて、薄暗い行燈の向ふに兄の矢坂玄六郎種員の姿が現はれた。

（仙之助、その二人こそ俺を欺し討にした仇敵ぢや）

と、怨めしげに訴へるのが聞えた。

はつと目を開けて、狂亂したやうに、行廣の一刀を取るが早いか、空に向つて、

「えいつ!」

と、刃を拂つた。その途端、行燈が吹消えて、闇の中に、無言劇のやうに、猿藤門お藤と猿塚四郎の二人が、二人とも腕を拂はれて、ばつたりと斃れた。と、その姿がまた消えた。

「貴方、どうなされたので御座います」

お澤がいぶかつて訊ねた。

「いや、他愛ない妄想ぢやよ」